

中心市街地活性化への歩み

平成20年度版











豊田まちづくり株式会社

豊田市若宮町1-57-1　〒471-0026
www.tm-toyota.co.jp

平成20年6月編集

豊田まちづくり株式会社

目　次

ごあいさつ …… 1
豊田まちづくり㈱の設立経緯及び事業経過 …… 2
会社概要 …… 4
会社組織 …… 6
会社決算の推移 …… 7
商業機能の充実（テナントミックス事業）
　・豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 …… 8
　・テナントミックス事業 …… 10
　・ショッピングモール核整備推進事業 …… 12
　・商店街活性化事業 …… 14
　・チャレンジショップTM SEED …… 16
集客プロモーションの充実
　・集客プロモーション事業
　　・まちなか宣伝会議 …… 18
　　・集客プロモーション事業 …… 20
　・情報発信事業
　　・屋外回転広告（AIRS） …… 22
　　・豊田市総合案内板情報表示装置 …… 23
おもてなし（環境整備）事業の充実
　・フリーパーキング事業 …… 24
　・TM若宮パーキング …… 26
　・多目的広場（シティプラザ）整備事業 …… 27
　・ショッピングカート共同利用事業 …… 28
　・有料駐輪場事業 …… 29
　・まちなかレンタサイクル事業 …… 30
　・飲むならパーキング事業 …… 31
　・まちなかクリーンアップ事業 …… 31
　・豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業 …… 32
豊田市のまちづくり
　・豊田市中心市街地活性化基本計画 …… 34
　・豊田市中心市街地活性化協議会（TCCM） …… 38
　・豊田市商業振興条例 …… 40
　・商業活性化推進交付金による事業の数々 …… 42
その他のまちづくり事業
　・一店逸品運動 …… 44
　・豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業 …… 45
資料
　・豊田市データー …… 46
　・交通アクセス …… 48
　・豊田市の産業 …… 50
　・豊田市の財政 …… 51
　・周辺商業施設概要 …… 52
　・通行量調査 …… 54
まちづくり推進団体 …… 56

ごあいさつ

『中心市街地活性化への歩み』の編纂に当たり、まちづくり事業に携わる全ての方々に、改めて深く感謝申し上げます。この冊子は、発行以来、回を重ねて第5回になりますが、『まちづくりの道』に残した足跡を記録に留め、また、積み重ねた事業の数々を紹介するものであります。

さて、平成14年4月、TMO法人豊田まちづくり（株）が設立・発足して以来、第一期3ヵ年計画／経営基盤整備の期（H14～H16年度）、第二期3ヵ年計画／経営強化前進の期（H17～H19年度）と称する6年が経過いたしました。会社経営の視点では、平成16年度に累積損失の解消、平成19年度には念願であった株主配当を実施し、一歩一歩ではありますが、期の名の如くの成果を挙げ、何とか会社経営の母体が出来てきたかの感があります。これもひとえに関係各位のお力添えの賜物と厚く御礼申し上げます。

一方、まちづくりを取り巻く環境では、中活法の改正を受けて豊田商工会議所と当社共同で、平成18年10月に中心市街地活性化協議会を設立致しました。その協議会の下に中心市街地活性化基本計画に挙げられた事業の実現を強力に進めるため、各事業主体との連携・調整・支援の役割を担う豊田シティマネイジメント（TCCM）たる機関が新たに誕生し、その構成員としても、各種のまちづくり事業に取組んでいるところでございます。

社内においては、企業の社会的責任を全うすべく内部統制に力を入れる一方、組織力の強化を図り、当社が関与する事業のすべてを通して、これまで以上に地域社会の皆様に喜んでいただけるよう努力して参る所存です。
今後とも宜しくご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

豊田まちづくり株式会社
会　　長　板倉　猛
代表取締役　鈴木　幸穂

豊田まちづくり(株)の設立経緯及び事業経過

破綻による混乱期

平成12年 **7月12日** **(株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て**
7月26日 (株)豊田そごう民事再生手続き開始の決定(東京地方裁判所)
9月 1日 豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業
10月25日 **豊田そごう閉店発表**
10月30日 中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出
11月 2日 市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出
11月27日 豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」を豊田市長に提出(再生スキーム案の提出)
12月13日 豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査実施(アンケート)
12月25日 **豊田そごう閉店**
平成13年 3月 9日 そごう再生本部との交渉妥結
3月12日 東京地方裁判所による再生手続きの廃止決定
3月16日 債権銀行団との交渉妥結
3月21日 **3月定例市議会で緊急活性化条例、貸付金の予算可決**
4月12日 豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行
4月13日 とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得
4月16日 **(株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印 (株)松坂屋が出店表明**
4月18日 東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定

豊田まちづくり(株)の創立期

平成13年 **4月20日** **臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任**
6月27日 平成12年度・第7期 定時株主総会
9月29日 資本金確定(4億9,090万円)
10月25日 **松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業**
11月22日 (株)マイカルが会社更生法適用を申請
平成14年 **1月28日** **(株)マイカルが豊田サティを含む19店舗閉鎖を発表**
2月26日 豊田まちづくり(株)、豊田都市開発(株)臨時株主総会にて分割契約書承認
3月29日 **豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定**
3月31日 豊田まちづくり(株)が分社型吸収分割により、豊田都市開発(株)を統合

TMO法人豊田まちづくり(株)の本格始動

■第一期3ヵ年計画(平成14年度～16年度)経営基盤整備の期
平成14年 **4月 1日** **会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足**
4月10日 豊田都市開発(株)が会社解散決議
4月16日 臨時株主総会
4月26日 **トヨタ生協が豊田サティ後継店としての出店方針を発表**
5月31日 豊田サティ閉店
6月28日 平成13年度・第8期 定時株主総会
7月15日 **メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン**
10月19日 **メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン**
11月 1日 まちなかクリーンアップ事業始動
11月 2日 チャレンジショップ「TM SEED」開業

平成15年 3月19日 TM若宮パーキング工事着手
4月 1日 **中心市街地フリーパーキング事業の開始**
5月30日 豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン
6月30日 平成14年度・第9期 定時株主総会
8月22日 まちなか宣伝会議立ち上げ
9月 6日 まちなかレンタルサイクル事業開始
平成16年 3月 5日 B館T-FACE3階リニューアルオープン
3月20日 **TM若宮パーキング竣工**
6月30日 平成15年度・第10期 定時株主総会
8月30日 TM若宮パーキング1階 豊田市ITS情報センター「みちナビとよた」開業
8月31日 多目的広場(シティプラザ)整備事業竣工
11月 6日 チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン
平成17年 3月19日 東海環状自動車道鞍ヶ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業
3月31日 第一期3ヵ年計画(平成14年度～16年度 経営基盤整備の期)の終了
平成16年度決算で過去の累損を解消

■第二期3ヵ年計画(平成17年度～19年度)経営強化前進の期
5月25日 **平成17年度第2回取締役会 借入金48億(豊田市)の返済開始を決議**
平成17年 6月 3日 地域限定ハローキティグッズ販売開始
6月 8日 豊田市より、豊田市商業活性化交付金、商業活性化推進3ヵ年計画の認定
6月29日 平成16年度・第11期 定時株主総会
7月29日 借入金(豊田市)の返済開始
10月 1日 ショッピングカート共同利用事業オリジナルカート登場
10月25日 桜町本通り商店街振興組合ファザード整備事業TMO計画認定
平成18年 1月 5日 産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
2月13日 駅西再開発ビル等総合管理委託業務(提案型見積競争)入札執行
3月15日 豊田商工会議所会館竣工
4月 1日 エコステーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
4月30日 「桜町本通り商店街ファザード事業」「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典
6月28日 平成17年度・第12期 定時株主総会
7月 8日 桜町本通り商店街八日朝市の開始
8月 7日 まちなかレンタサイクル社会実験スタート
8月22日 **中心市街地活性化法改正**
10月 7日 T-ＦＡＣＥ飲食店街リニューアルオープン
10月10日 **中心市街地化活性化協議会設立**
11月16日 コモパーキングオープン
11月17日 ホテルトヨタキャッスルオープン
12月 1日 ワンナイトパーキング事業(実験)開始
平成19年 4月27日 コモ・スクエアオープン
6月 1日 桜町ほうだら会、豊田市等と共に都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」受賞
電波の日に東海綜合通信局より表賞(TM若宮パーキングでのDSRC活用)
6月27日 平成18年度・第13期 定時株主総会 **剰余金の配当を決議**
平成20年 3月 4日 第8回中心市街地活性化協議会 **TCCM設置の決議**
3月19日 T-FACE飲食店街3店新規オープン
3月31日 第二期3ヵ年計画(平成17年度～19年度 経営強化前進の期)の終了

■第三期3ヵ年計画(平成20年度～22年度)飛躍への挑戦期

会社概要

会社概要

【商　　号】 豊田まちづくり株式会社
【本　　店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
【設　　立】 平成13年4月20日
【資 本 金】 授権資本 12億9,600万円
　　払込資本　4億9,090万円

【株主構成】

株　主	株主数	出資額（単位：千円）	株主数比率（単位：%）
大　企　業	25名	82,900	13.30
中小企業・個人	157名	33,300	83.51
内／商業関係	(76名)	(13,150)	(40.43)
団　体	5名	372,550	2.66
自己株式	1名	2,150	0.53
合　計	188名	490,900	100.00

【大 株 主】(100株以上)

株　主　名	持株数	出資額（単位：千円）	出資比率（単位：%）
豊　田　市	6,240	312,000	63.55
豊田商工会議所	991	49,500	10.09
トヨタ自動車株式会社	400	20,000	4.07
(株)三菱東京UFJ銀行	200	10,000	2.03
株式会社松坂屋	200	10,000	2.03
豊田鉄工株式会社	200	10,000	2.03
小島株式会社	120	6,000	1.22
協同組合豊田市商店街連盟	100	5,000	1.01
大豊工業株式会社	100	5,000	1.01
豊田信用金庫	100	5,000	1.01
太啓建設株式会社	100	5,000	1.01
合　計	8,751	437,500	89.12

【役員体制】 取締役および監査役（平成20年3月31日現在）

取締役会長	板倉　猛	財団法人豊田市都市整備公社　副理事長	(豊田市駅前通り南開発株式会社　代表取締役)
代表取締役	鈴木 幸穂	豊田商工会議所　参与	(太啓建設株式会社　相談役)
取締役	中村 紀世実	豊田市　副市長	
取締役	鈴木 辰吉	豊田市　産業部専門監	
取締役	河合 和之	トヨタ自動車株式会社　総務部部長	
取締役	寺田 壽孝	豊田商工会議所第3商業部会　部会長	(豊田酒造株式会社　取締役社長)
取締役	河木 照雄	豊田商工会議所　副会頭	(株式会社山田屋　代表取締役)
取締役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社　事業統括取締役	
監査役	宇井 皷之	豊田市　収入役	
監査役	今井 康夫	豊田商工会議所　副会頭	(豊田信用金庫　会長)

経営理念

豊田まちづくり(株)は、
1. 豊田市まちづくりのために、行政・会議所・商業者及び地域の方々と共働して、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーとして迅速な事業展開及び新事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場づくり
5. CSRを自覚した企業経営の推進
6. 中心市街地活性化協議会及びTCCMとの協調によるまちづくり事業の推進

経営課題

1. 基幹事業の収益強化策の実施
2. 資産価値向上のための計画的投資の実施
3. まちづくり事業への積極的取り組み
4. 各種新事業の企画開発
5. 借入金の返済と内部留保策推進
6. CSRを自覚した企業活動
7. 人事制度の推進と組織力の強化

主な業務内容

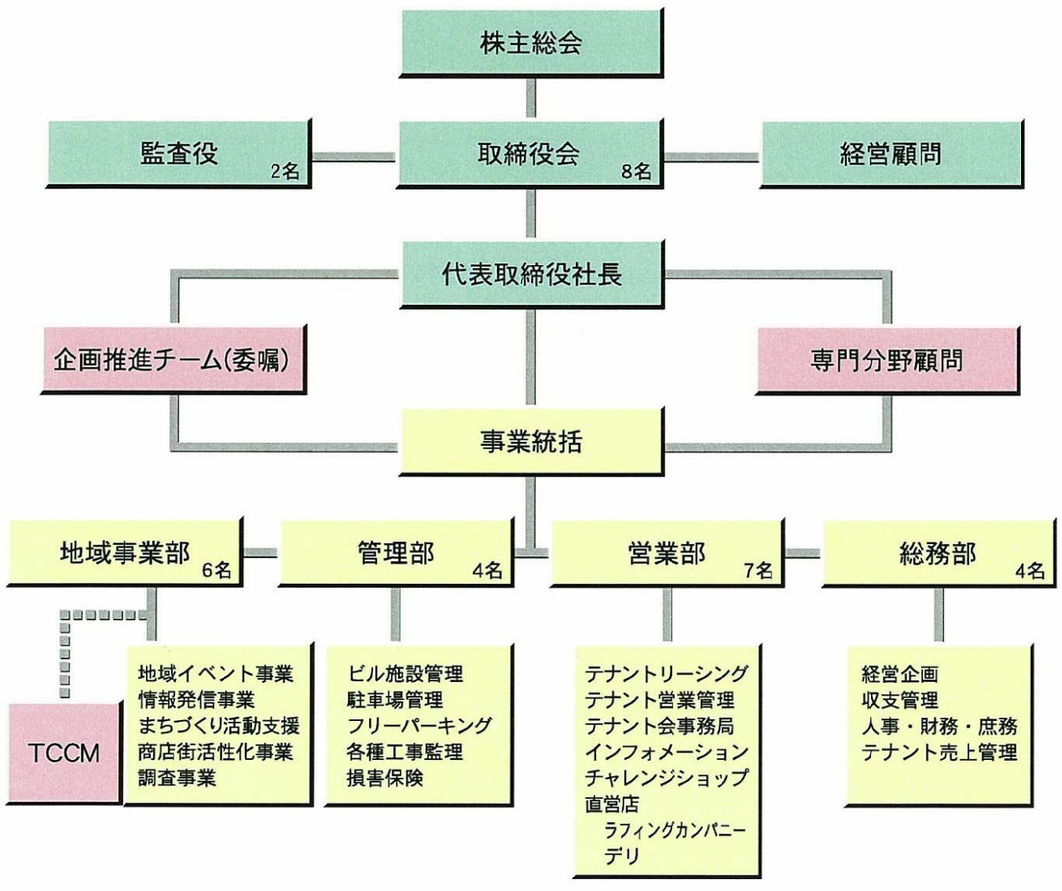
	事　業　名	頁
商業機能の充実	●豊田市駅西口再開発ビル等管理運営事業	P 8
	●テナントミックス事業	
	・ショッピングモール核整備推進事業	P12
	・商店街活性化事業	P14
	●チャレンジショップTM SEED	P16
集客プロモーションの充実	●集客プロモーション事業	
	・まちなか宣伝会議	P18
	・集客プロモーション事業	P20
	●情報発信事業	
	・屋外回転広告(AIRS)	P22
	・豊田市総合案内板情報表示装置	P23
おもてなし(環境整備)事業の充実	●フリーパーキング事業	P24
	●TM若宮パーキング	P26
	●多目的広場整備事業	P27
	●ショッピングカート共同利用事業	P28
	●有料駐輪場事業	P29
	●まちなかレンタサイクル事業	P30
	●飲むならパーキング事業	P31
	●まちなかクリーンアップ事業	P31
	●豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業	P32

会社組織

組織編成方針

1. 経営顧問(2名)を委嘱し、経営全般にわたる助言を受ける。
2. 社長の諮問機関として、企画推進チームを組成し、事業執行の円滑推進を図る。
3. 業務推進体制は、事業統括取締役の下、4部制とし、業務別責任担当制をとり相互補完できる機動的組織とする。

(平成20年4月1日現在)



会社決算の推移

連続貸借対照表

(単位:千円)

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
資産の部	流動資産	655,584	688,923	555,685	667,282	713,274	818,673
	有形固定資産	7,955,322	7,281,517	7,094,206	6,778,285	6,586,272	6,403,534
	無形固定資産	2,615	5,782	15,689	13,825	19,210	20,991
	投資その他資産	354,507	81,526	81,509	81,654	104,451	107,380
	資産合計	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578
負債・純資産の部	流動負債	1,162,075	712,541	616,665	669,422	707,681	767,770
	固定負債	7,376,353	6,868,037	6,627,822	6,335,341	6,095,300	5,865,285
	負債合計	8,538,429	7,580,578	7,244,488	7,004,764	6,802,982	6,633,055
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益剰余金	▲61,299	▲13,728	11,702	45,383	129,326	228,781
	自己株式						▲2,158
	純資産合計	429,600	477,171	502,602	536,283	620,226	717,523
	負債・純資産合計	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578

連続損益計算書

(単位:千円)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	2,144,188	2,177,673	2,293,799	2,382,086	2,397,340	2,458,394
売上原価+販売費及び一般管理費	2,062,574	2,174,341	2,219,543	2,271,595	2,201,561	2,224,802
営業利益	81,614	3,332	74,255	110,491	195,778	233,592
営業外収益	6,307	124,583	65,887	83,358	47,055	36,004
営業外費用	98,649	93,638	102,978	103,316	58,437	75,068
経常利益	▲10,727	34,277	37,164	90,533	184,396	194,528
特別利益	25,676	1,630,308	50,401	621	0	8,934
特別損失	22,216	1,602,484	51,566	29,855	76,293	12,905
税引前当期純利益	▲7,268	62,100	36,009	61,299	108,102	190,556
法人税、住民税及び事業税	290	14,529	10,578	27,617	24,160	76,373
当期純利益	▲7,558	47,570	25,430	33,681	83,942	114,182
前期繰越利益剰余金	▲53,740	▲61,299	▲13,728	11,702	45,383	129,326
利益剰余金配当額						▲14,727
利益準備金積立額						▲1,472
繰越利益剰余金期末残高	▲61,299	▲13,728	11,702	45,383	129,326	227,308

設備投資の状況

(単位:千円)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
ビル内装、TM若宮パーキング(一部)等	TM若宮P、ギャザビルテナント誘致等	TM若宮P事務所、シティプラザ整備、中央監視システム等	ビル設備・内装、情報セキュリティ等	ビル設備・内装・会計契約管理システム等	ビル設備・内装、入退館・勤怠管理・入室システム等
687,894	1,281,808	240,108	67,440	120,971	116,449

商業機能充実(テナントミックス)

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業

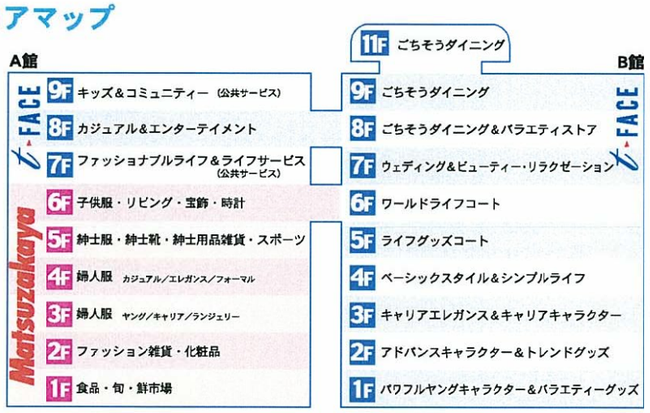
豊田市駅西口市街地再開発ビルの概要

豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸する。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、専門店街「T-FACE」の管理運営を行う。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開する。

再開発ビル営業の再生

昭和63年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタートした。平成12年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に「松坂屋豊田店」を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。その後、平成16年3月にB館3階、同年9月にB館4階、平成18年10月にB館8-9階(飲食フロア)をリニューアルしている。また、平成20年10月には、創業20周年を迎える。

再開発ビルフロアマップ



施設概要

建物名称 豊田市駅西口市街地再開発ビル
所在地 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
建物構造 A館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上9階
B館 鉄筋鉄骨コンクリート地下1階・地上11階
建物面積 延床面積 66,519㎡
A館:43,466㎡ B館:23,020㎡
店舗面積 松坂屋豊田店 19,500㎡
T-FACE 物販 15,282㎡
飲食・サービス 5,276㎡

営業時間 松坂屋 10:00～19:00
※土日のみ10:00～19:30
T-FACE 10:00～20:00
ごちそうダイニング 11:00～23:00
※サービス店等一部異なる。
年間休日 不定休(年間3～4日程度)
駐車場 約4,100台
※フリーパーキングシステムに加入の近隣駐車場収容台数。
TM若宮パーキング、第1駐車場、若宮駐車場他

豊田市駅西口市街地再開発ビル等の一括総合管理

再開発ビルの健全な維持管理に必要な業務は、緊急事案への迅速な対応、全関連業務での意識統一・連携、また業務範囲・作業量変化へのフレキシブル対応等のため一事業者(提案型見積競争入札により選定)、一括管理委託している。また、管理事業者と共に、業務の効率化による管理経費の削減策を随時検討・実施している。

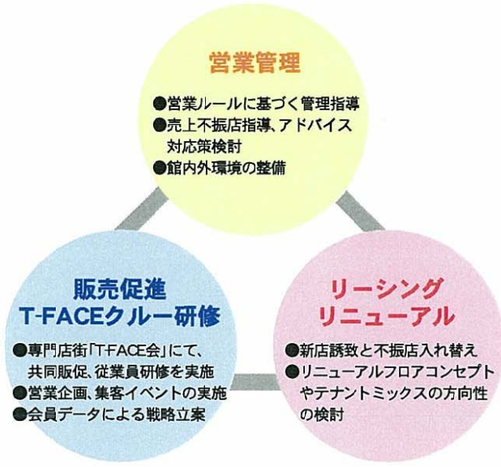
一括総合管理

設備管理業務 | 清掃管理業務 | 保安警備業務 | 駐車場管理業務

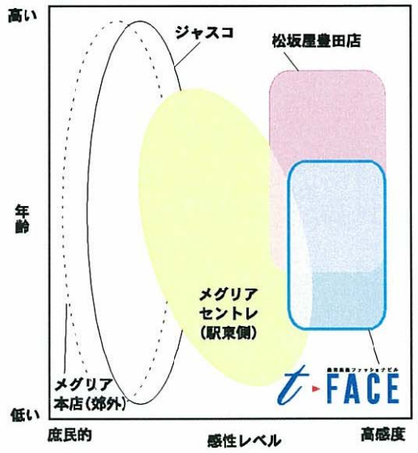
専門店街T-FACEの運営

T-FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッション・流行に敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。



T-FACEターゲットマトリックス



T-FACEとしてのCSR

創業20周年を迎える平成20年度、T-FACEでは、お客様にマニュフェスト的宣言としてSCの決意表明をひとつにまとめ発信する。これは、T-FACEとしてのCSRを広告的に発信する事で、顧客への共感層を獲得する狙い。また、「チーム－6%」に豊田まちづくり(株)として加盟し、環境への取り組みも行っている。

《具体的な取り組み》

■ちょこっとECOと大作戦 T-FACEのごちそうダイニング各店にて、割り箸を使わずマイ箸をご利用された方に、豊田エコ倶楽部の「エコシール」を進呈。
エコシール20枚でショッピングチケット100円分として利用いただける。
※平成20年4月より、T-FACEごちそうダイニングとして豊田エコ倶楽部に加盟している。

■SAVE THE GREEN チャリテイ T-FACEでもマイ箸を販売し、売上金の一部を環境保護団体に寄付する活動。

■まちなかクリーンアップ 毎月第一土曜日朝9時から、T-FACEのテナントクルーと豊田まちづくりのスタッフで駅周辺の清掃活動をボランティアで行っている。

直営店事業

店舗経営ノウハウの蓄積、デベロッパー業務へのフィードバックを目的に事業展開している。

物販店 ラフィングカンパニー(アウトドアショップ)
デリ(輸入食材・雑貨)

商業機能等配置実行計画（テナントミックス）

豊田市は平成17年度に策定した商業機能等配置実行計画について、平成18年度、見直しを行った。

＜目的＞商業等の魅力化に向け、必要な業態や業種の誘致・店舗配置を図る。

中心市街地商業のめざす方向

中心市街地商業はショッピングモール　《大型店＋商店街》

「自分らしい生活の創造と堪能」に貢献するショッピングモール

魅力づくりの考え方

1	駅周辺に形成されている集客核を基点とする
2	魅力化の契機となる新たな回遊動線を創り、人の流れを生み出す
3	「点から線」「線から面」発想の魅力化整備
4	新たな顧客の吸引（明確なターゲット設定）（リピーター、広域の来街者）
5	商業店舗そのものの魅力化が基本（逸品開発等、商品・サービスの魅力を高める）

魅力化のシナリオ

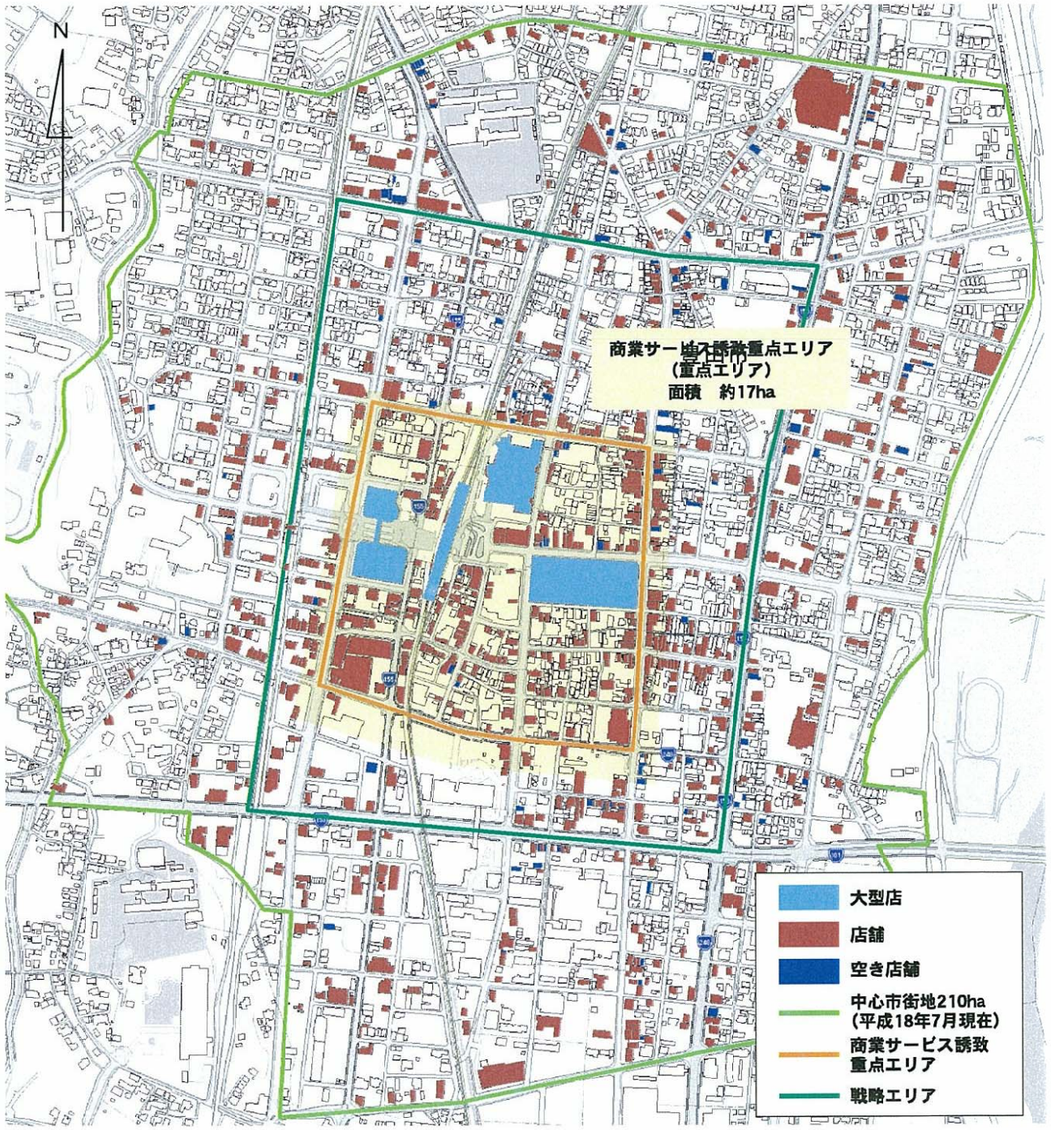
1. エリア毎に明確なテーマとターゲットを設定し、街並み、商品の魅力により、通（まち）のブランド化をはかる。

2. 既成集客核（百貨店、ファンションビルなど）、既成商店街、その他のまちの資産を結ぶ「通」「小径」を散策道として整備し、街のネットワークの形成をはかる

3. ブランド化された通（まち）が散策道で結ばれることにより、回遊は「点から線」、「線から面」へと広がりをみせる

■商業活性化エリア

商業サービス誘致重点エリア（以下重点エリア）	戦略エリア
集客核を含む、回遊可能な範囲（直線距離500m以下/面積17ha）を商業サービス誘致重点エリアとして設定する。まずは、この重点エリアを最優先に「面」として構築し、外への広がり、波及を目指す。広域からの来街目的と成り得る「商業の顔」をつくる。	地域密着の商業地を目指す。市民のより高質なライフスタイルを支える商業集積地の形成を目指す。



商業機能充実(テナントミックス)

ショッピングモール核整備推進事業 大型店テナントミックス研究会

大型店テナントミックス研究会とは…

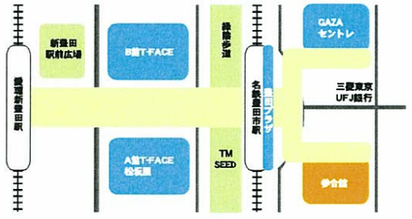
豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態としての役割の達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果　～回遊性等を考慮した改善案の策定と、実現のための方策を探る会議体である。最終目的は各店の集客・売上の向上とする。
また、今後の中心市街地開発者に対し、情報の提供と、まちに必要とされる機能・業態を研究会として提案も行う。中心市街地活性化の一役を担い、エリアの商業集客を向上させる。

当エリアにおける各業態(百貨店、SM、専門店街等)および総合力として持ち得るパワーを検証し、
現状の売り逃がし、店舗間MDバランス等々悪さ加減を認識し、不備・欠落部分を改善する。
出席メンバー連帯による相乗効果を最大限発揮するための方策までを検討し、実施する。

①郊外型SC等競合店とのパワーバランスとその原因把握より、展開の方向性を探る。
②名古屋流出を食い止めるMDの可能性とMDプランを探る。
③各店の課題の改善(各店間の相乗効果発揮を踏まえ)を図る。
④大型店回遊・買い回り促進の仕組み(⇒MD調整面、ハード面)を検討する。
⑤上記をふまえ、各自リニューアルへの取り入れをする。

参加商業施設

商業施設名	業　　種
松坂屋豊田店	百　貨　店
GAZA	ＧＭＳ
メグリアセントレ	スーパーマーケット
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	専門店街



第1期3ヵ年(平成17年度～平成19年度)研究会活動内容

平成17年度　「大型店事業者による大型店テナントミックス研究会の発足…意見交換会開催・参加大型店と郊外SC店の比較調査、同規模都市の視察」

・現状の把握:営業状況の共通認識、既存コンセプト、課題等の確認
・自店ならびに郊外店の分析:他都市視察、競合店ベンチマーク、お客様ニーズ把握等
・方向性の策定:各店MDのあるべき姿の策定、不足業種・業態の把握　※コンサルティング会社に調査・分析依頼

平成17年度実施内容
・各商業施設の現状を把握したうえ、郊外SCとの売場面積、売上額、利用客等の比較結果を検証し、違いを明確にした。
・調査結果等より、中心市街地の利用客が求めるもの、期待することを参加大型店が確認した。
・国内外の地方都市の中心市街地再構築およびテナントミックスの成功事例の要因、考え方等についてダイナミックマーケティング社より毎回レクチャーを受け、今後の中心市街地のあり方について研究した。
・関東方面への視察を実施した。


千葉県柏市:東神開発(株)でのレクチャー
平成17年度関東方面視察にて

柏市では、柏ステーションモール(東神開発株式会社)より、職場大型店(百貨店、ファッション専門店ビル等)とのすみ分け、役割等についてレクチャーを受けた。

平成18年度　「中心市街地大型店の方向性の確認、MDプランの作成」

・平成17年度調査内容の結論　・全体テナントミックスプランの策定
・各大型店MDのモデルプラン作成　※コンサルティング会社にプラン作成依頼

平成18年度実施内容
・「豊田市中心市街地における大型店のMD基本方針」をテーマとし、郊外型との調査結果、当エリアの立地評価、マーケット検証から、豊田市中心市街地の商業核として相応しいテナントミックス・MDプランを研究し、基本的な方向性を定めた。
・市民ニーズの高い欠落業種・業態を把握した。
・本来あるべき(将来の)MDプランの概ねの方向性の確認と平成19年度実施可能プランを各社ごとに明確にした。


T-FACEレストランゾーンリニューアル

《主な実施事例》
松坂屋(平成18年9月)　2階、高級インポートブランドショップ導入、ファッショングッズゾーンの再構築
3階、都市型レディースキャリアショップの導入
T-FACE(平成18年10月)　B館8、9階レストランゾーンリニューアルの実施

平成19年度　「今後の推進プランの作成」

・平成18年度作成したプランより現実性のあるMDプランへの修正
・回遊性向上計画案の作成　※コンサルティング会社にプラン作成依頼

平成19年度実施内容
・よりMDプランニングを得意とする新たなコンサルを招聘し、H18年度で策定したMDプランの妥当性の確認と、各店との個別懇談会のうえ、より現実味あるプランとすべくプランの修正を実施した。
・本事業の目的達成のためには回遊性向上策が重要不可欠であることを新たに共通認識とし、回遊性向上計画案を作成した。



《主な実施事例》
松坂屋…インポートブランド(バーバリーブルーレーベル)導入、メンズブランドの新規導入等
T-FACE…ごちそうダイニングの充実(飲食店3店舗オープン)

第2期3ヵ年(平成20年度～平成22年度)研究会基本方針

・各大型店のＭＤすみ分け・再構築を実施し、一つのショッピングモール並の一体感を創出する。
・作成したＭＤプランの実現に向けて、リニューアル(新店導入、新規機能等の付加)を実施し集客力拡大を図る。
・回遊性の向上を図る施策を実施する(ハード面の課題も明確にする)。

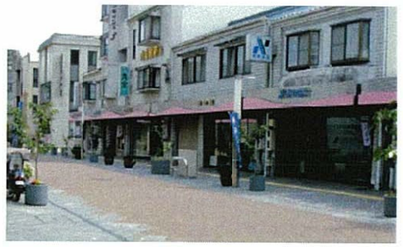
商業機能充実(テナントミックス)

テナントミックス事業(商店街)

豊田まちづくり(株)は商店街事業に対して全面的なバックアップ体制を築いている。
また、必要に応じて、官・民のスムーズな連携をサポートする。

■桜町本通り商店街振興組合

商店街環境整備による商店街らしい街並み、歩きたくなる街並みの形成。
平成17年度、商店街統一の外壁装飾、突出し看板、バナーの設置を実施した。
合わせて、豊田市が道路のバリアフリー整備を実施した。



毎月8日は『八日朝市』を開催。お客様と店の交流、賑わいづくり

・地産地消にこだわった朝市の開催。
・交流イベントとして歌声ホール、ちんどん屋の練り歩きを実施。
・ワゴンセールなど店先で売り出しを実施。
・お客様へのおもてなしとして、お菓子のふるまいやベンチの設置を行っている。





平成19年度『都市景観大賞　美しいまちなみ優秀賞』受賞
／国土交通省
商店街ファサード整備と豊田市の市道中町線バリアフリー整備について、桜町ほうだら会(桜町本通り商店街)、豊田市、(株)創建、豊田まちづくり(株)が、官民共働で実施した実績を評価され、合同受賞となった。



平成18年度『ブランド商店街』認定
／愛知県
愛知県下で桜町本通り商店街を含む11の商店街が認定された。

■西町商店街協同組合

明かり事業の実施

居酒屋など飲食店が約6割を占める商店街の特徴を活かし夜の賑わいづくりと安全で安心な地域貢献を目指し、明かり事業を実施した。
足助地区の「たんころりん」のような竹細工の行灯(あんどん)とゆれる灯火で街中に情緒ある風景を演出した。





■一番街商店街振興組合　■ひまわり通り商店街振興組合

商店街活性化計画を策定

一番街商店街活性化計画

一番街商店街活性化のコンセプト

変わらない信頼。変わっていくストリート。

一番街商店街活3ヶ年の目標

1. いつ来ても居心地の良い空間、お店・サービスを提供する商店街となる
2. 高質なライフスタイルを提案し「一番街商店街」ファンを創る
3. 竹生線道路リニューアルを契機に商店街の存在を特徴づける街並みを創る
4. 建物(特に1階)の店舗化を維持・推進する



ひまわり通り商店街活性化計画

ひまわり通り商店街活性化の基本方針

人に愛される安全安心な専門店街を目指します。

店主ひとり、ひとりが専門性を身につけ、“何でも気軽に相談できる豊田市の老舗商店街”であることをアピールします。孫、こどもの代まで信頼いただける商品の取り扱いや接客に努めます。来街者が快適と思う空間演出を心掛け“安全安心なまち”であることをアピールします。地域内の歴史的価値のある浄久寺や毘沙門天、商店街名の「ひまわり」を活用し、親しみやすさをアピールします。



商業機能充実(テナントミックス)

チャレンジショップ TM SEED

新しい創業者の発掘・支援

チャレンジショップとは

「いつか自分の店を持ちたい！」という意欲ある“将来の商売人”に、安い賃料の店舗を貸し、一緒に商売のノウハウを積んで行こうというショップ形態。これまでにない個性的な店舗の育成と、豊田市商業の活性化を狙う。

コンセプト

オープンスタイル　いろいろな店舗の集合体。いつ来てもわくわくショッピングができるミニ専門店街スタイル。明るく、入りやすい、くつろげる空間とする。

オープンエイジ　ヤングマインドを持つ幅広い年齢の方をお客様対象とする。

出店ショップ
① 独立欲の高いチャレンジャー
② 取扱い商品にこだわりを持っている店舗
③ 豊田市に今までなかった商品展開を持つ店舗
④ 幅広い客層に対応する商品を取扱う店舗

ヒビ コレ チャレンジ
TM SEED

概　要

名　　称	チャレンジショップ「TM SEED」 「T」＝とよた 「M」＝まちづくり 「SEED」＝種
場　　所	豊田市西町(名鉄豊田市駅西口、マクドナルド豊田駅前店南隣)
業　　種	販売業及びサービス業(飲食業は除く)
店舗形式	改造コンテナ3台設置。コンテナ1台を最大4店舗に区割り。
区画坪数	約1.9坪(間口2.8m×奥行2.4m)
使 用 料	(1区画)家賃10,000円、水道光熱費10,000円、共益費10,000円
契約期間	原則として1年間(最大1年の延長期間制度あり)
補助金名	空き区画等活用事業
補助金額	15,576千円(国庫補助金・市費補助金 各1/2)

サポートシステム

1.商工会議所・TMOによる店舗運営(店づくり、接客、顧客管理)に関する基本指導
2.商工会議所による簿記・確定申告指導
3.共同販促(装飾やイベント、雑誌掲載などの広告宣伝等)
4.出店者のコンサルティング・相談
5.ステップアップ企画(増床や研修など店舗にあわせた独立応援システム)

独立サポート

1.独立希望店舗のコンサルティング・相談
2.中小企業センター経営指導員への相談
3.融資相談・補助
4.独立先物件探しサポート
5.独立支援補助金(豊田市)申請



研修カリキュラム

1ヶ月～3ヶ月	4ヶ月～6ヶ月	7ヶ月～9ヶ月	10ヶ月～12ヶ月	1年後
店づくり(商品配置・陳列・ディスプレイ他)		ステップアップ診断	ステップアップ →	独立開業
売上管理(月次・日次日報業務・簿記他)				
商品管理(商品仕入れ・在庫管理他)			独立準備 →	延長営業
顧客管理(顧客ノート・ポイントカード)				独立が延びた要因の改善
	販売促進(POP・イベント企画他)			
接客(基本)		接客(応用)	接客(不得意・悩み解決)	

実績と成果　平成20年5月現在

●事業開始からの出店店舗数／29店舗　●現在営業店舗数／2店舗
事業開始以来、20店舗退店、7店舗が独立し、平成20年度内に1店舗が独立開業予定にある。

中心市街地への独立店舗

店 舗 名：ハニーリップ
開 業 日：平成19年3月6日(火)
取扱商品：子供服
住　　所：豊田市竹生町4丁目



店 舗 名：自転車修理工房こんどう
開 業 日：平成18年12月16日(土)
取扱商品：自転車修理、
　　自転車部品交換
住　　所：豊田市西町1丁目



店 舗 名：Papillion
開 業 日：平成18年10月16日(月)
取扱商品：香水、レディスウェア
住　　所：豊田市西町1丁目



店 舗 名：BUGS HOUSE
開 業 日：平成18年3月3日(金)
取扱商品：帽子
住　　所：豊田市西町1丁目
備　　考：独立時に「49's」
　　から店名変更



店 舗 名：TOP THE UNDER GROUND
開 業 日：平成16年8月20日(金)
取扱商品：HIP HOPウェア
住　　所：豊田市西町2丁目



店 舗 名：MOTHER EARTH
開 業 日：平成16年5月26日(水)
取扱商品：古着
住　　所：豊田市西町1丁目



集客プロモーション

まちなか宣伝会議

まちが本気で動きだす。力を合わせて動きだす

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意会議体としてH15.8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

＜目的＞①中心市街地への来街促進を図る。
②中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
③中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

主な内容

□3ヶ月単位を目処とした、構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有
□共同事業の企画・実行（集客事業・情報発信事業等）
□構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定





構成メンバー（H20年4月1日現在）

株式会社松坂屋 豊田店／T-FACE会／トヨタ生活協同組合／豊田市駅東開発株式会社／カシマゴビルディング株式会社／株式会社豊田スタジアム／トヨタ自動車株式会社／名鉄トヨタホテル／ひまわりネットワーク株式会社／協同組合豊田市商店街連盟／豊田市美術館／豊田市コンサートホール・能楽堂／豊田商工会議所／豊田市近代の産業とくらし発見館／豊田市駅前通り南開発株式会社／株式会社ホテル豊田キャッスル／株式会社ハクヨプロデュースシステム／トヨタすまいるライフ株式会社／財団法人豊田市体育協会／豊田産業文化センター／豊田市（オブザーバー）／事務局：豊田まちづくり株式会社 地域事業部

活動実績

□まちなかトピックス（H15.10～）
　共通フォーマットの広告モデル作成→構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載
□グルメクーポン（H15.11～）
　集客施設の催事期間中に飲食店のサービスクーポンを配布
□とよたまちパワーフェスタ（H16.3～）
　中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント　※毎年、春・秋に開催
□まちなかWEB（H17.9～）http://www.toyota-machinaka.com/
　中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ（商品・催事の情報発信）
□まちなか情報誌（H17.9～）
　まちパワーフェスタ開催に併せ、既存の地元情報誌へフェア・セール・トピックスの掲載、まちなか宣伝会議オリジナル情報誌の発行
□まちなかイメージアップ・CI活動（H19.12～）
　中心市街地のイメージアップの為の、啓発ポスターの作成

平成19年度の主な活動

まちなか宣伝会議

□とよたまちパワーフェスタ2007秋の開催
開催日：平成19年9月29日（土）・30日（日）













□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2008春





新聞折込（100,000部）、イベントにあわせて配布（10,000部）

□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2007秋





イベント・お祭りに合わせて配布
（10,000部）

□とよたまちパワーフェスタ2008春の開催
開催日：平成20年3月22日（土）・23日（日）













□イメージアップポスターの掲示



□その他
・とよたまちなかクーポン（まちなかガイドブック内）





・コモスクエア共催企画





・まちなかＷｅｂ
www.toyota-machinaka.com



集客プロモーション

集客プロモーション事業

人で賑わう、出会い交流の場所となるために

主な周年イベント・お祭りカレンダー（●主催、主催メンバー事業／○受託事業）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
とよた緑化まつり 洞泉寺 楽市楽座●	ふれ愛フェスタ○	水道フェスタ○	豊田おいでんまつり （マイタウンおいでん♪豊スタ） 豊田スタジアム夏まつり●○	交通安全フェア○	産業フェスタ○	挙母まつり オールトヨタビックホリデー （わくわくワールド） とよたものづくりフェスタ トヨタロックフェスティバル● まちパワーフェスタ秋●	クラシックカーミーティング	イルミネーション ストーリー●○			まちパワーフェスタ春●

平成19年度の主な実施（主催・受託）イベント

□ふれ愛フェスタ
5月12日（土）



□水道フェスタ
6月2日（土）



□豊田スタジアム夏まつり（マイタウンおいでん）
7月14日（土）



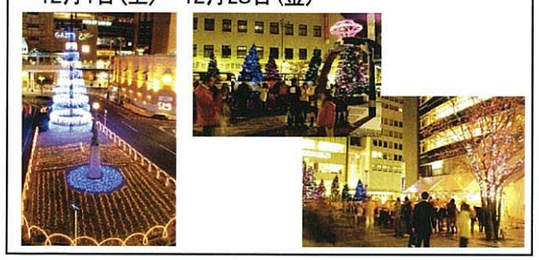
□豊田市交通安全フェア
8月17日（金）～19日（日）



□産業フェスタ
9月22日（土）～23日（日）



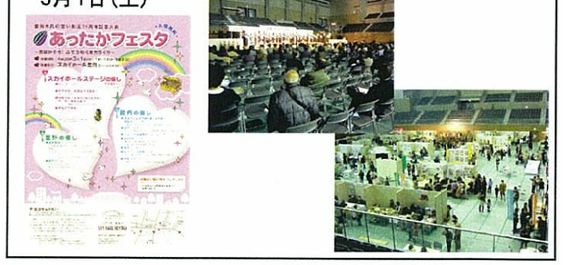
□イルミネーションストーリー
12月1日（土）～12月28日（金）



□三河上郷駅前イルミネーション
11月24日（土）～1月31日（木）



□豊田市民の誉い30周年記念事業
3月1日（土）



□まちパワーフェスタ（オータム／スプリング）
※豊田市中心市街地まちなか宣伝会議事業



ジョイカルウェイブ　www.joyculwave.com
音楽を切り口にした若者文化創出支援事業！



■タイトル　TOYOTA ROCK FESTIVAL'07
■日　　時　平成19年10月13・14日（土・日）
■場　　所　豊田スタジアム　西イベント広場
■来場者数　延べ6,000人

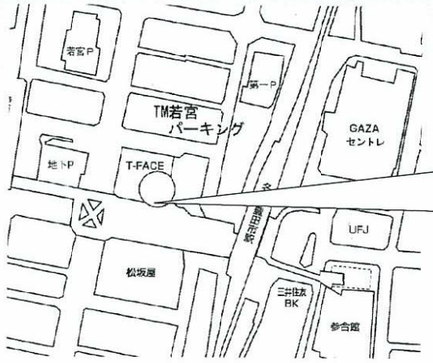
■ジョイカルウェイブ主催団体（敬称略）
・トヨタ自動車株式会社
・財団法人豊田市文化振興財団
・愛知県労働者福祉協議会豊田支部
・トヨタ自動車労働組合
・豊田商工会議所
・株式会社豊田スタジアム
・T-FACE会
・豊田まちづくり株式会社

集客プロモーション　情報発信事業

屋外回転広告（AIRS）

事業概要

概　　要	多くの通行者が行き交うペデストリアンデッキ上で、目を引く効果的な広告掲出により、情報提供や賑わい創出等中心市街地の活性化事業として展開する。
特　　徴	シートが回転し、人目をひきつけインパクトのある広告 最大6シートの広告掲載、広告スペースの有効活用と大量の情報提供が可能 インクジェット出力のスピーディで美しい画面品質
仕　　様	広告サイズ H1900×W3800 広告掲出数 最大6シート（約20秒で1シート回転）
稼働時間	毎日7:00～23:00
事業開始	平成17年8月1日（月）
設置場所	B館T-FACE　2F南壁面（ペデストリアンデッキ側）









参考資料

■周辺の一日あたりの通行量・平均乗降客数

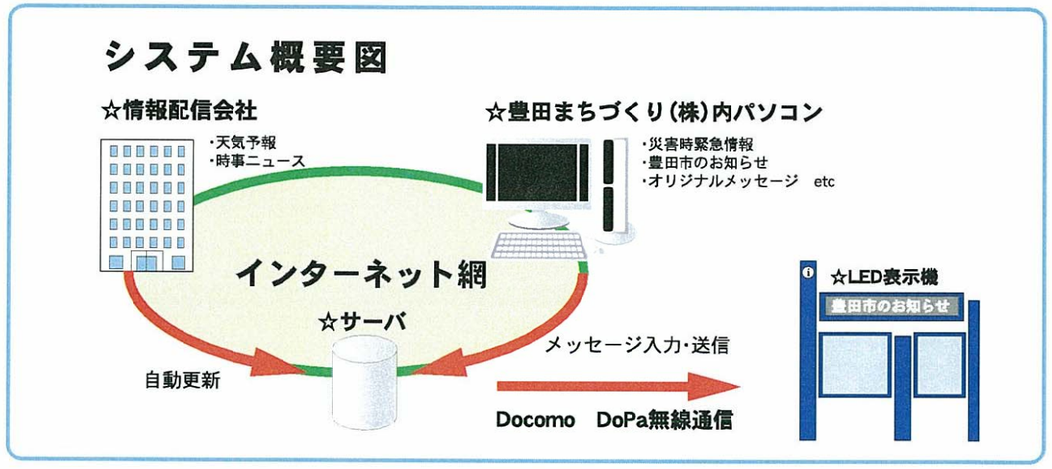
ペデストリアンデッキ（豊田市駅西口）	平日14,510人　土日12,939人	※H19通行量調査
豊田市駅（名古屋鉄道）	平均27,075人	※H18名古屋鉄道調べ
新豊田駅（愛知環状鉄道）	平均　9,402人	※H18愛知環状鉄道調べ

集客プロモーション　情報発信事業

豊田市総合案内板情報表示装置

豊田市総合案内板情報表示装置とは？

中心市街地に6箇所設置された総合案内板上部にあるLED文字情報表示装置。
平成20年1月から、市道浄水駅歩行者道線地下通路内（名鉄浄水駅から豊田厚生病院間）に2台設置。









事業概要

事 業 名	豊田市中心市街地総合案内板情報表示装置管理業務（受託業務）
受 託 先	豊田市産業部商業観光課
内　　容	LED文字情報表示装置を使い、来街者や歩行者へ各種の情報提供を図る。
業務期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
運用時間	6:00～23:00
業務内容	公共情報や時事ニュースの他、まちなかイベントなどのオリジナル情報の収集と受付をし、来街者に対して発信する。 (1)オリジナルメッセージの情報収集・受付業務 (2)オリジナルメッセージのスケジュール管理と入力送信業務 (3)装置の動作確認と簡易清掃

おもてなし事業（環境整備）とは…

豊田市を訪れた人に「また来てみたい」、「住んでみたい」と思っていただけるようなまちにするため、地域の住民や企業、行政、豊田まちづくりが一体となって各種の「おもてなし事業」を展開。
豊田オンリーの“飲むならパーキング”、便利で楽しい“共同利用カートやレンタサイクル”、ボランティアが真心を込めてキレイにする“まちなかクリーンアップ”活動などを実施。

おもてなし事業（環境整備）

フリーパーキング事業

中心市街地の駐車サービスの一元管理

導入の背景

「駐車料金が高い！」「どの駐車場に停めたらいいかわからない！」「駐車場が少ない！」など、中心市街地駐車場に対するお客様からの課題は山積みです。この事業はまちを構成する商店や大型店・事業所や公共施設など、それらを利用するお客様に向け、中心市街地の駐車場を3時間無料とすることで駐車場課題の解決の第1歩を踏み出したいと考え、開始しました。
システム導入は国と豊田市の補助を受けて整備を行い、運営はすべての加盟店が利用料金を負担し合いシステムを支えています。

事業概要

目　　的　中心市街地への来街促進と駐車場利用者の利便性向上
事業開始　平成15年4月1日
事業内容　①加盟店（店舗・施設）でも買い物・利用をすれば、中心部の加盟駐車場のシステム統一と加盟店利用（買い物等）による利用者への駐車料金3時間無料サービスの提供
②加盟駐車場、加盟店（店舗・施設）の利用状況等の各種情報の一元管理と駐車場からみた中心市街地活性化策への活用
補 助 金　経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」　13,757千円
豊田市　「豊田市中小企業団体等事業費補助金」　68,769千円
※いずれもシステム導入事業費としての補助金



事業の仕組み

利用者（お客様）

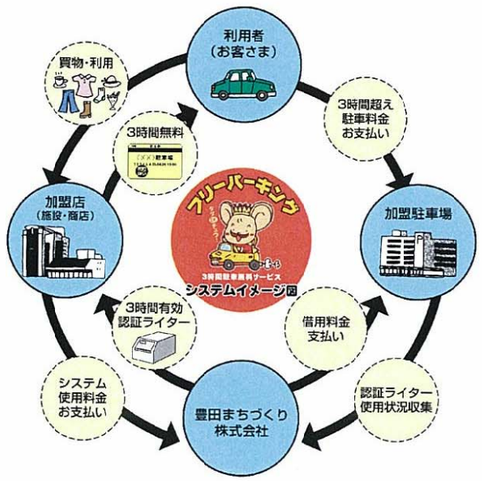
買い物または利用した加盟店（店舗・施設）で駐車券に3時間無料サービスの認証を受け、駐車場を利用
（超過分は利用者負担）

加盟駐車場

豊田まちづくり（株）と駐車場利用契約を締結、
豊田まちづくり（株）は各駐車場事業主に借用料（借上げ料）の支払い

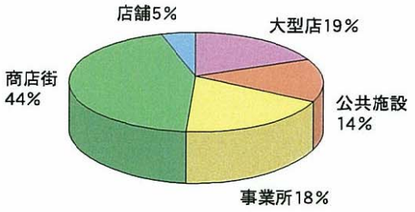
加盟店（店舗・施設）

加盟手続き後、豊田まちづくり（株）へシステム利用料の支払いと利用者へ3時間無料サービスの提供



加盟店加入状況（平成20年3月31日現在）

【認証ライター配付状況】



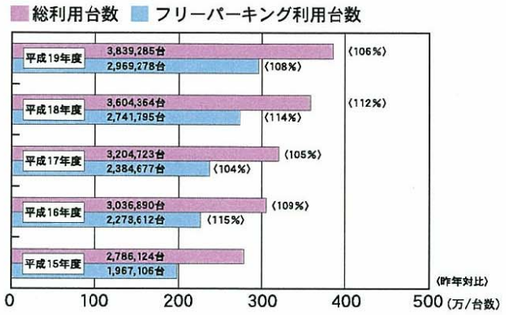
【加盟店加入状況の推移】

加盟店分類	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大型店	99	103	104	113	122
公共施設	43	45	80	87	89
事業所	118	129	123	143	120
商店街	187	192	228	254	294
店　舗	39	42	36	33	30
合　計	486	511	571	630	655

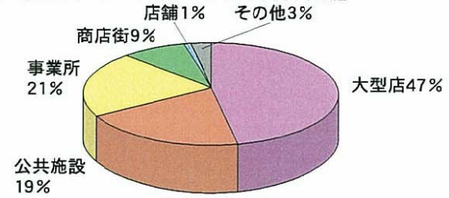
※事業開始から2年間の普及期間を経て、平成17年4月より各加盟店の利用に応じた料金とした。加盟店に負担が大きくならないよう料金割引率を商店街加盟店舗は大きく設定した結果、商店街加盟店舗が大きく増加した。

加盟駐車場利用実績（年間累計）

【総利用台数とフリーパーキング利用台数】



【加盟店別フリーパーキング利用内訳】



加盟駐車場



加盟駐車場16ヶ所　合計4,132台収容

①**産業文化センター駐車場**（市）
280台収容　8:00～22:00
②**新豊田駅西駐車場**（市）
43台収容　24時間営業
③**第2駐車場**（TM）
109台収容　7:00～23:00
④**若宮駐車場**（TM）
485台収容　7:00～23:00
⑤**新豊田駅地下駐車場**（県公社）
170台収容　6:00～23:40
⑥**TM若宮パーキング**（TM）
412台収容　24時間営業
⑦**ヴィッツ駐車場**（民間）
685台収容　24時間営業
⑧**第1駐車場**（TM）
314台収容　6:30～25:00
⑨**昭和町駐車場**（TM）
221台収容　7:00～23:00
⑩**ギャザパーキング**（市公社）
225台収容　24時間営業
⑪**喜多町駐車場**（市公社）
524台収容　24時間営業
⑫**豊田参合館駐車場**（市公社）
111台収容　24時間営業
⑬**コモパーキング**（市公社）
250台収容　24時間営業
⑭**西町丸太パーキング**（民間）
172台収容　24時間営業
⑮**元城駐車場**（市）
100台収容　8:00～22:00
⑯**児ノ口駐車場**（市）
31台収容　8:00～22:00

おもてなし事業（環境整備）

TM若宮パーキング

まちなかへの車のアクセスがより便利に

駐車場事業

事業概要

目　　的　中心市街地への来街者の利便性を高めるとともに、ペデストリアンデッキ等との連結によりまちなかを回遊しやすい環境を整え、集客力を高める。また、中心部に位置する24時間必要な駐車場として、大型商業施設をはじめ、公共施設・公共交通機関・商店等の利用に際して、これまで以上に各施設へのアクセスしやすい環境を整備した。

事 業 費　1,434,942千円 経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市　「中小企業団体等事業費補助金」

事業内容　新駐車場建設、連絡通路及びＢ館２階風除室の新設工事

駐車場概要

開 業 日　平成16年3月20日（土）
延床面積　13,935.87㎡
収容台数　412台
構　　造　鉄骨造（FR鋼）地上6階建塔屋1階
自走式連続傾床式立体駐車場





●幅2.6mの広い車室

ご利用案内

営業時間　24時間営業・年中無休
駐車料金　30分150円（24:00～翌6:00 30分100円）
サービス　フリーパーキング加盟駐車場
豊田市共通駐車サービス加盟駐車場
車両制限　車高2.1m・車長5.0m・車幅2.0m未満



●ハートフルエリア



●高速エレベータ



●24ｈ監視の管理室

利用実績

項　目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
年間総利用台数	10,355台	609,490台	703,909台	745,604台	747,086台
月あたり利用台数	——	50,791台	58,659台	62,134台	62,257台
日あたり利用台数	941台	1,670台	1,929台	2,043台	2,041台
日あたり回転数	2.3回	4.1回	4.7回	5.0回	5.0回

DSRC活用駐車場事業

事業概要

平成16年度に豊田市が社会実験で使用した、DSRCシステム一式を豊田まちづくり㈱が借受けし平成17年6月より事業展開している。
登録車両が駐車場ゲートに近づくと自動でゲートバーが開閉しフリーパーキング同様に3時間無料サービスを受けられる。
駐車券は不要となるため、精算機への車寄せや、窓から身をのり出す必要もなく体の不自由な方にも優しいサービスとなっている。

※DSRCとは、高速道路のＥＴＣで使われる専用狭域通信。
※利用には事前登録が必要（千円/１台・１年）。３時間を超えた駐車料金は、利用者負担となります。



豊田市ITS情報センター「みちナビとよた」 お出かけのお役立ちスポット

事業概要

概　　要　来る人住む人の移動に役立つ、交通・観光・地域情報を、インターネットなどの通信技術を活用して、快適な交通環境を目指すITSを実際に体験できる施設として、豊田市がＴＭ若宮パーキング1階に開設した。

※ITS（高度道路交通システム）とは、カーナビなどの情報通信技術により人やクルマの移動を支援するシステム







事業主体　豊田市都市整備部交通政策課
施設運営　財団法人豊田都市交通研究所
開 所 日　平成16年8月30日（月）
開館時間　9:00～19:00
住所連絡先　豊田市若宮町1丁目1番地　TM若宮ビル1階　TEL（0565）36-0105
（PC）http://michinavitoyota.jp/　（携帯）http://michinavitoyota.jp/mobile/

おもてなし事業（環境整備）

多目的広場（シティプラザ）整備事業

市民が集う交流拠点

事業概要

目　　的　名鉄「豊田市駅」と愛知環状鉄道「新豊田駅」の間に位置するシティプラザを、回遊性を改良し開かれたオープンスペースに改修すると共に、ステージやベンチを設置するなど、各種イベントの開催やオープンカフェとしても利用できる多目的広場として整備した。

事 業 費　43,980,000円
経済産業省　商業サービス業集積関連施設整備費補助金
豊田市　中小企業団体等事業費補助金

内　　容　①ひまわり時計を撤去し、国道155線からのアクセスを改良
②ペデストリアンデッキからの階段を末広がり型へ形状変更
③常設ステージとベンチの設置
④一般照明の設置と、植栽用スポット照明の設置
⑤デザインクリート床による整備

竣　　工　平成16年8月31日（火）



整備前



整備後

事業効果

（1）中心市街地の交流拠点（催事実績）

平成16年度実施：16催事　集客：6,172人
平成17年度実施：24催事　集客：9,072人
平成18年度実施：21催事　集客：12,400人
平成19年度実施：12催事　集客：3,300人





（2）回遊動線の改良と安らぎの空間としての利用増加

おもてなし事業（環境整備）

ショッピングカート共同利用事業

まちなかの買物を楽しく便利に

事業概要

平成16年度の豊田市社会実験を経て、歩行者の快適な移動支援を継続的に提供するため、他地域にはないオリジナルカートを導入。改良を重ね、回遊促進、滞留時間の拡大を目指し、中心市街地の商業活性化を目的に、中心部の大型店が共同事業として展開している。



事業開始　平成17年5月1日

H19年度　オリジナルカート（レクサス号）10台を追加導入した。

カート台数　オリジナルカート30台（セルシオ号10台、レクサス号10台、2000GT号10台）ちび丸号10台

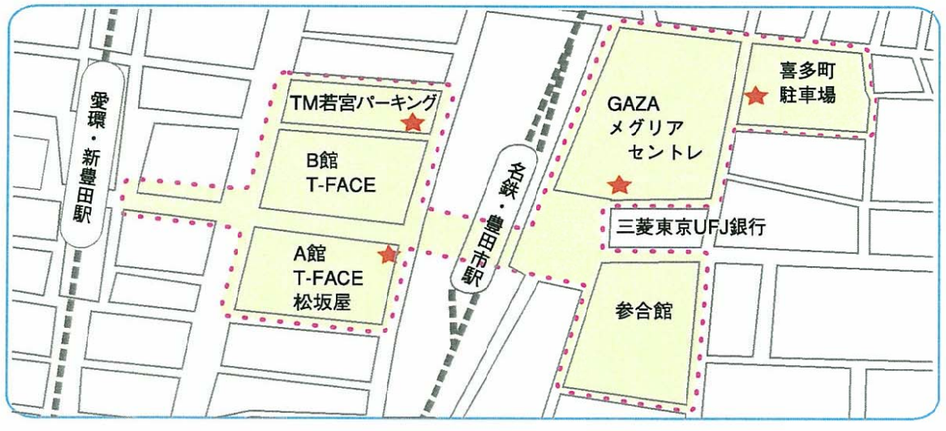
利用時間　毎日10：00～21：00

参加企業　松坂屋豊田店（株式会社松坂屋）
GAZA（豊田市駅東開発株式会社）
メグリアセントレ（トヨタ生活協同組合）
T-FACE（豊田まちづくり株式会社）



管理運営　現行の各施設の管理システムと要員を活かし、カート回収、維持管理を行うことで、効率的な管理を推進。
豊田市商業活性化推進交付金と参加企業による管理費負担にて運営。

事業エリア



★デポ

おもてなし事業（環境整備）

有料駐輪場事業

安全・安心・快適な駐輪場をめざして

事業概要

導入経緯　相次ぐ自転車やオートバイの盗難や放置自転車対策として、安心・安全・快適に利用できる駐輪場の整備を検討し、全国的に実績のある「街の駐輪問題を解決するシステム」エコステーション21を導入した。

事業開始　平成18年4月1日

設置場所　T-ＦＡＣＥ・松坂屋豊田店ビルの外周

駐輪場名称　エコステーション21豊田駅西

営業時間　24時間・年中無休

事業内容　エコステーション21の管理・運営者「日本コンピュータ・ダイナミクス（＝NCD／本社：東京都品川区）が駐輪機器等を設置。管理・運営と共に有料駐輪場を事業展開。

設置台数　550台（自転車350台・バイク73台・その他127台）

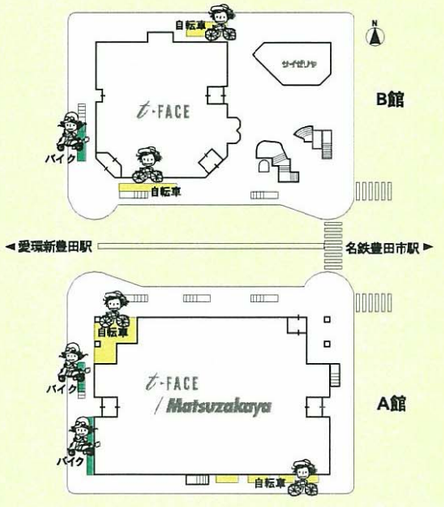
システム

利用方法　T-ＦＡＣＥ・松坂屋豊田店の買い物客に限らず、誰でも利用できる駐輪場
最初の3時間は無料。その後12時間ごとに自転車は100円、バイクは200円。

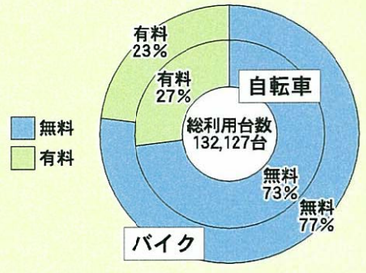
管理・運営　日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社　（＝ＮＣＤ）

対応　問合対応：サポートセンターで24時間対応（遠隔操作問合対応）
人的対応：現場対応が必要な場合、地元警備会社が現場へ急行。利用者を待たせることなく全国各地の駐輪場管理・運営を一元管理。

駐輪場図面



平成19年度駐輪場利用実績



		無料	有料	合計(台)
A館	自転車	58,049	18,916	76,965
	バイク	12,057	3,415	15,472
B館	自転車	23,049	10,632	33,681
	バイク	4,528	1,481	6,009
合計	自転車	81,098	29,548	110,646
	バイク	16,585	4,896	21,481
				132,127

おもてなし事業（環境整備）

まちなかレンタサイクル事業

豊田のまちを自転車で走ろう

事業概要

目　　的　商店間の買いまわりの推進と商業活性化
中心市街地の移動（観光、仕事、用足しなど）支援による中心市街地活性化
事業主体　豊田まちづくり株式会社
事業協力　みちナビとよた、名鉄トヨタホテル、自転車修理工房こんどう、豊田市
管理委託　株式会社メンテック、自転車修理工房こんどう

自転車貸出しステーション

みちナビとよたステーション
　利用時間／9:00～18:30　　休業日／年末年始（12月29日～1月3日）
駅東ステーション
　利用時間／9:00～18:00　　休業日／毎週火曜日
名鉄トヨタホテルステーション
　利用時間／9:00～18:00　　休業日／年中無休

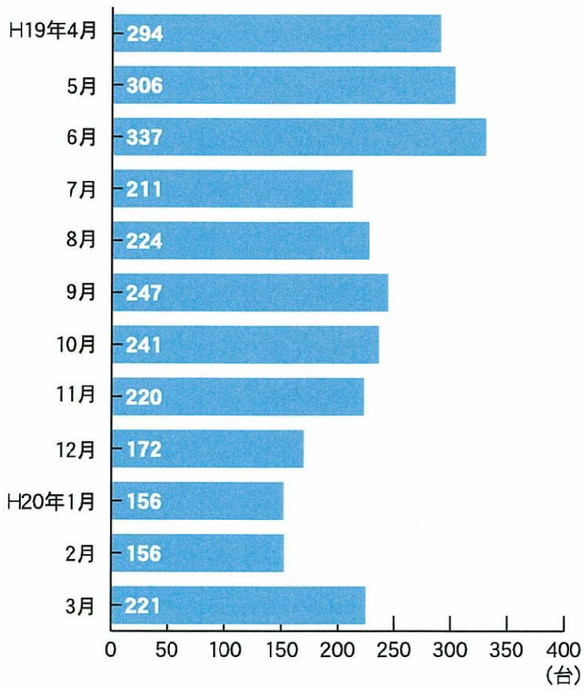
事業経過





利用状況

平成19年4月～平成20年3月末　延べ　2,785件



おもてなし事業（環境整備）

飲むならパーキング事業

飲んだら乗らない、これ大人の常識。

事業経緯



平成15年9月よりT-FACEレストラン街の独自サービスとして「ワンナイトパーキング」を展開していたところ、福岡でおきた市職員飲酒運転による幼児死亡事故をきっかけに、中心部へのサービス拡大を計画し、官民4駐車場へ呼びかけを行い、平成18年12月より実験的な取組みとしてスタートしました。

目的

中心市街地に来街し、飲酒したお客様に対し、駐車場事業者が共同で駐車料金の負担を軽減することにより、飲酒運転抑止を目指します。

概要

アルコールを提供する加盟店（飲食店）で飲食した利用者は、名鉄豊田市駅周辺の対象駐車場に翌日正午まで500円で駐車することができます。利用者が飲食後、加盟店の印と日付の入ったチケットを500円で購入し、翌日駐車場管理員に渡して出庫する仕組みです。17時から翌日12時まで最大19時間を500円で駐車できます。

事業主体　豊田まちづくり株式会社
事業協力　財団法人豊田市都市整備公社、カシマゴビルディング株式会社、豊田市

対象駐車場（カッコ内は、翌日に出庫できる時間帯）
TM若宮パーキング（7:00～12:00）
喜多町駐車場（9:00～12:00）
ギャザパーキング（9:00～12:00）
参合館駐車場（9:00～12:00）
VITS駐車場（7:30～12:00）
新豊田駅西駐車場（8:00～12:00）
コモパーキング（9:00～12:00）

チケット料金
500円／1回（利用者負担）
※利用者は加盟店でチケットを500円で購入する必要があります。

加盟店（アルコールを提供する飲食店に限定）
フリーパーキングに加盟している飲食店
指定区域内で飲むならパーキングに加盟希望の飲食店
〈指定区域〉若宮町、月見町、小坂本町、西町、喜多町、桜町、昭和町、竹生町



おもてなし事業（環境整備）

まちなかクリーンアップ事業

キレイな街にはキレイな文化が宿る

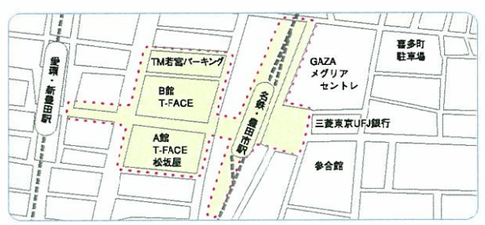
事業概要



平成14年11月1日に豊田まちづくり株式会社、松坂屋豊田店及び専門店「T-FACE」の有志などを集め、豊田市駅前ロータリー、新豊田駅前ロータリー、ペデストリアンデッキ上、バス停・タクシー乗降場所周辺などを集中的に清掃。

事業主体　豊田まちづくり株式会社
事業協力　松坂屋豊田店　名鉄トヨタホテル
株式会社メンテック　T-FACE
（平成20年4月現在参加）

実 施 日　毎月第一土曜日（少雨決行）
実施時間　9:00～9:20位まで



おもてなし事業（環境整備）

豊田市中心市街地まちづくり活動支援事業

竹生線沿線地区のまちづくり

竹生線電線類地中化整備工事を契機に、竹生線沿線の4つの自治区において住民主体の話合いの場、自治区単位の協議会（以下、協議会）がつくられた。地域の課題や問題点、特徴を活かしたまちづくりなど、自治区内の様々なことについて熱心な話合いをおこなっている。

竹生線沿線地区の4つの協議会

●東区「竹の子村まちづくり協議会」




●三区「竹生線沿線地区街づくり協議会（考える）」




●二区東部「神明町町づくり委員会」




●一区「竹生線を活かしたまちづくりを考える会」




●4協議会合同

4協議会代表者会議



歩道舗装材の説明



舗装材試験張り説明会



講演会の開催
（まちの景観について考えよう）



協議会のまちづくり活動

フラワーポッドの花の植替え作業や花の管理、世話など、会のメンバー以外の住民からも協力が得られ、地域住民が一体となってまちづくり活動をおこなっている。



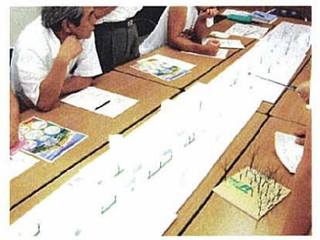

○桜町ほうだら会（一区）
花の植替え作業



○竹の子村まちづくり協議会（東区）
イルミネーション装飾

竹生線道路整備計画づくりの話合いの様子

竹生線道路整備計画づくりでは、模型を使ったワークショップで街路樹の場所や商店街街路灯の設置場所などを確認し、より具体的な整備計画を決めていきました。
また、歩道デザインや舗装材の選定では、スライドで色々な舗装素材や整備事例写真を見たり、道路整備先進事例地への視察や試験的に舗装を張っての現地見学をおこないながら整備の方向性をまとめていきました。



竹生線道路整備案イメージ（4協議会（案））



注）整備案イメージは平成20年3月時点のもの

豊田まちづくり（株）の役割

・地域、商店等と行政が一体となり「共働したまちづくり活動」を進めることを支援する。
・それぞれの地区の特性を活かしたまちづくりの話合いや活動の方法について企画、運営をし、意識の共有化をはかる。

豊田市中心市街地活性化計画①

1 中心市街地活性化基本計画策定の背景

平成18年に「まちづくり三法」の見直しが行われ、「中心市街地の活性化に関する法律」（以下、「中心市街地活性化法」という）が制定された。

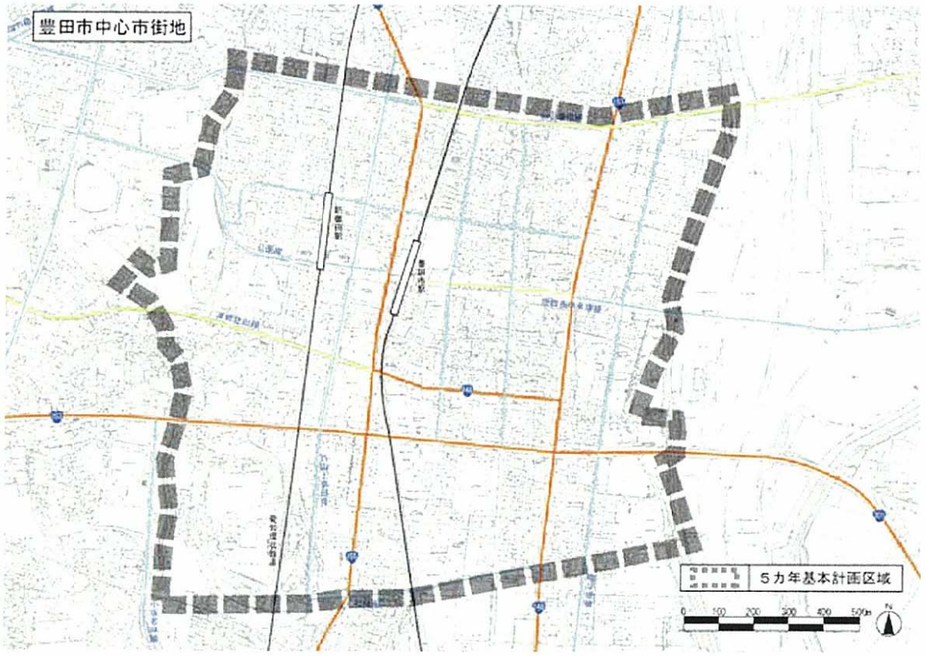
本市は、昭和60年策定の「都心総合整備基本計画」や平成12年策定の「豊田市中心市街地活性化基本計画」（以下「旧基本計画」）、平成14年の「豊田市中心市街地緊急活性化基本計画」による中心市街地の活性化を図ってきたが、市外に立地する大型商業施設等による消費の流出や都市の「顔」が求められていることなどから、長期20年のビジョンを見据えた、新たな中心市街地活性化基本計画の策定をすることにした。

2 計画期間

平成20年6月～平成25年3月
（内閣総理大臣認定予定）

3 中心市街地の区域

中心市街地の区域は、旧基本計画の区域をベースにした「196ha」とする。



4 将来像と目標

これまでの課題

《市街地の整備・改善》
未着手事業の見直し、景観やユニバーサルデザイン等の視点を取り入れた公共空間の再構築、就業基盤の拡大等さらなる街の顔づくりの推進が課題。

《商業の活性化》
特色をもたせたエリアを設定し、大型商業施設や個店という“点”から中心市街地全体という“面”への広がりを持たせることが課題。

《都市福利施設》
文化・スポーツ機能のソフト面の充実や、国際化への対応、高齢化を考慮した福祉機能等の充実が課題。

《街なか居住》
既存制度の活用を含め、中心市街地活性化に資する公共としての施策（民間支援等）展開が課題。

《公共交通機関》
鉄道や基幹バスのサービス向上により、公共交通による中心市街地へのアクセスの利便性を高め、自動車利用から公共交通利用への転換促進が課題。

《環境、景観》
豊田市の個性を具現化する魅力ある都市の顔づくりとしての環境や景観づくりや、人々が憩える空間の整備が課題。

将来像
「緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）の創造」

目標1　－ 活力とにぎわいの創出 －「活力」

1-1　商業・業務機能の立地誘導を図り、中心市街地のにぎわいづくりと昼間人口の増大を目指す
1-2　定住化促進支援により「街なか居住」を推進し、夜間人口の増大を目指す
1-3　国際性豊かな市民交流の促進や、文化機能の集積を図り、活力ある中心市街地を目指す

目標2　－ 公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現 －「交通」

2-1　ITSを活用し、人と車が共存する「かしこい交通社会」の実現により、安全・安心・快適に回遊することができる中心市街地を目指す
2-2　交通結節点整備により乗り継ぎのシームレス化を図るとともに、中心市街地へのアクセス性を向上させ公共交通の利用を促進し交通環境を改善する

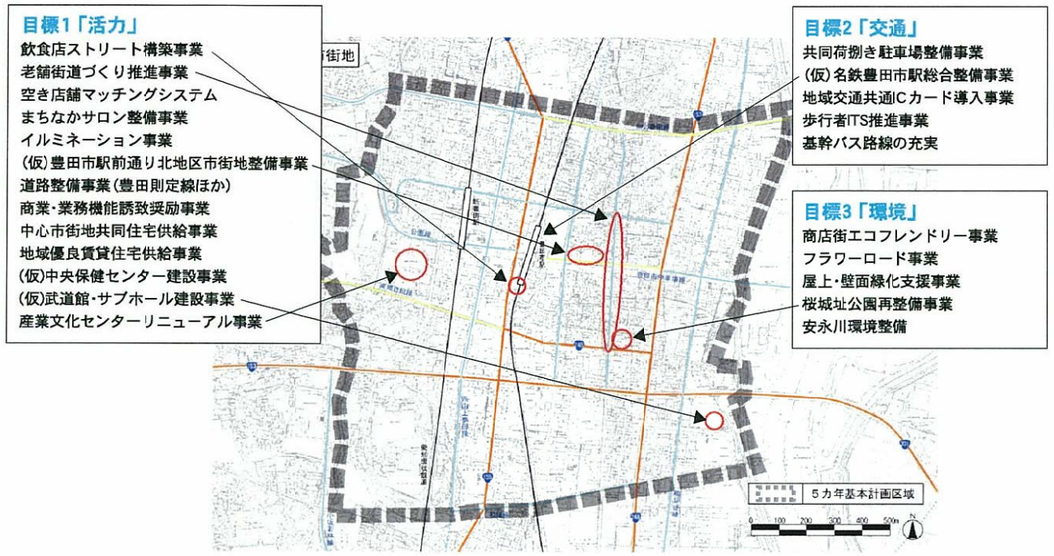
目標3　－ 環境に配慮したまちづくりの実践 －「環境」

3-1　景観に優れ、先進的な環境負荷低減モデルとなる中心市街地を目指す
3-2　水と緑のネットワークを創り、人々が自然に親しみながら水と緑のネットワークを創り、人々が自然に親しみながら憩える中心市街地を目指す

豊田市中心市街地活性化計画②

5 主な活性化事業

本基本計画においては、5年間で59事業を実施・着手する。
以下、主な事業を記載する。



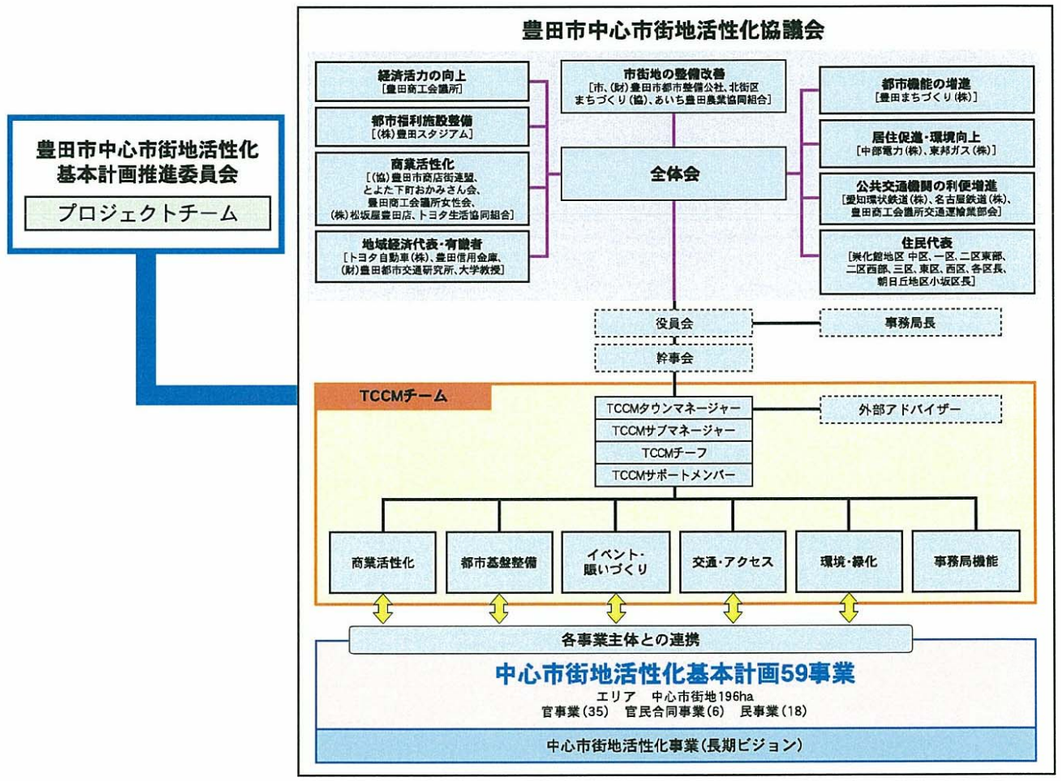
6 目標達成の把握

本基本計画で掲げる、平成24年度の数値目標は以下の通りである。
各数値目標については、毎年度達成状況の確認をするとともに、状況により目標達成に向けた必要な措置を講じることとする。

目標指標(H24)		
① 歩行者通行量(中心市街地内3ヵ所)	平日	25,788人⇒30,500人
	休日	20,428人⇒25,000人
② 中心市街地居住人口		11,653人⇒12,700人
③ 中心市街地従業者数		15,585人⇒16,600人
④ 商業核(大型店)年間売上高		20,600百万円⇒25,000百万円
⑤ フリーパーキング年間認証台数		274万台⇒330万台
⑥ 鉄道駅乗降客数(名鉄豊田市駅 愛環新豊田駅の合計)		36,827人/日⇒45,300人/日
⑦ バス乗降客数		4,882人/日⇒7,300人/日
⑧ 緑被面積		− ⇒+2,500m²
⑨ 年間CO_2削減量		− ⇒2,000t
⑩ エコシール年間受取枚数		40万枚⇒50万枚

7 中心市街地活性化の推進体制

中心市街地活性化法に基づき、平成18年10月に豊田商工会議所、豊田まちづくり(株)を中心とした「豊田市中心市街地活性化協議会」(以下「協議会」)が設立されている。協議会は、より多くの市民がまちづくりに参加することを目指し、まちの発展に寄与することを目標としている。また、本基本計画の実効性を高めるため、平成20年4月1日に「各事業主体への支援や事業のマネジメント等を行う」「豊田シティセンターマネジメント(TCCM)」を設立した。
行政においても「豊田市中心市街地活性化基本計画推進委員会」(以下「推進委員会」)並びに「プロジェクトチーム」を設立しており、官民連携した取り組みによる中心市街地の活性化を図るものである。



本基本計画で位置づけた各事業については、毎年度進ちょく状況を把握するとともに、推進委員会と協議会において、効率的な事業の実施と適切な改善・見直しを行いながら、中心市街地活性化の効果が最大限に発現していくよう取り組む。

豊田市のまちづくり

豊田市中心市街地活性化協議会の運営



協議会とは、中心市街地に関わる多種多様な関係者で構成された法定組織で、中心市街地活性化に関する事業の総合調整や事業の推進および市の策定する「中心市街地活性化基本計画」に対する意見表明・実効性に寄与するなど、まちづくりを総合的に推進する組織として、平成18年8月22日に改正施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づき組織される団体。
豊田市中心市街地活性化協議会は愛知県下では初の協議会として平成18年10月10日に設立発会（全国では9番目）し、協議会の会長には豊田商工会議所の渡辺祥二会頭が就任。

① 19年度の会議実績

全体会を年度内に5回、ワーキンググループ会議11回、専門部会11回開催。
その他中心市街地関係者に対する意識啓発のためのセミナーを2回開催。

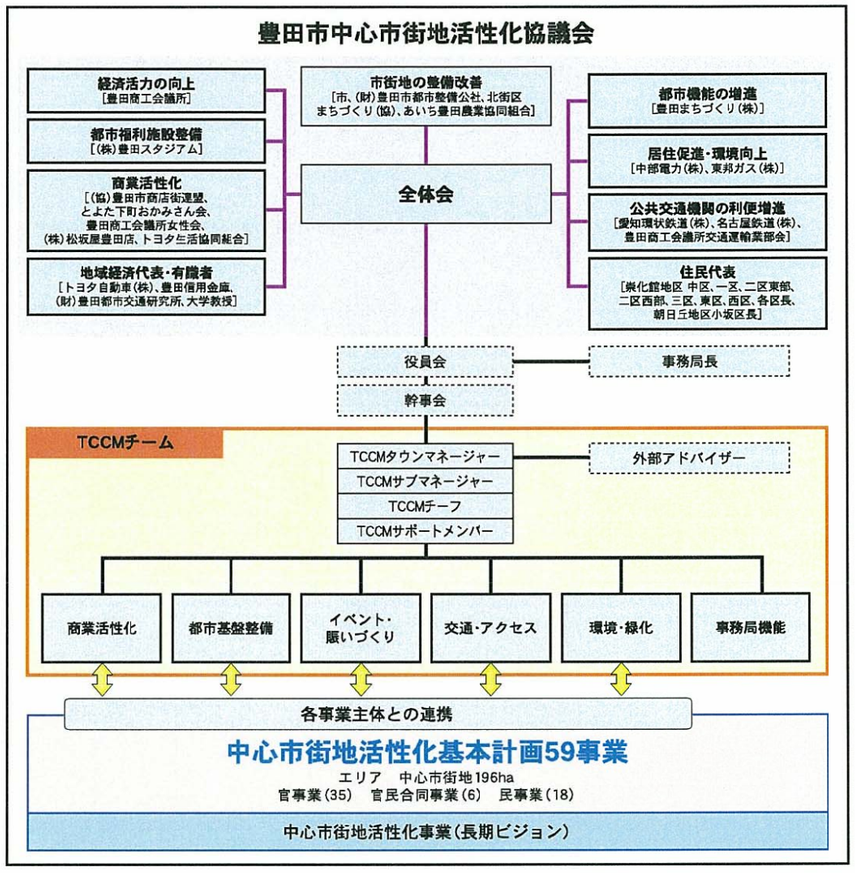
② 19年度の主な活動



「豊田市中心市街地活性化基本計画（案）」に対する提言ならびに民間主導事業の提案等活発な活動を行い12月6日には協議会として「意見書」を提出。
また、計画事業の着実な実施に向け、「協議会」の機能強化・拡充を図るため「豊田シティセンターマネジメント（TCCM）」の設置を決定。

③ 20年度に向けて

「豊田市中心市街地活性化基本計画」のタイムリーな推進
豊田市では協議会と緊密な連携のもと、「中心市街地活性化基本計画」策定を終え、現在、国の認定を目指し内閣府と協議中。今後は計画の着実な実施に向け、協議会の機能を強化すべく新たに設置導入を図った「豊田シティセンターマネジメント（TCCM）」を活かして、計画事業の促進ならびにマネジメントに努めてまいります。



新設する豊田シティセンターマネジメント（TCCM）の機能・役割と具体的活動内容

①機能・役割
◇基本計画事業における、事業主体への支援
◇基本計画事業の推進とマネジメント
◇中心市街地活性化に関わる事業構想の検討・立案機能
◇市民意識の醸成機能
◇協議会の事務局機能

②具体的内容
◇【事業の推進主体】TCCMがリーダーシップをとり、事業の実施・推進
◇【民間事業者への支援・協力】民間事業主体の実施事業のバックアップ、協力
◇【各事業の調整・コーディネート】
◇【基本計画事業のマネジメント】基本計画事業の実施に向け、各事業の進捗管理

豊田市のまちづくり

豊田市商業振興条例

豊田市産業部商業観光課

豊田市商業振興条例を制定し、平成17年4月1日に施行しました。現在、条例をよりどころとして各種施策を積極的に展開し、豊田市の商業を活性化し、魅力あるまちづくりを目指しています。

豊かな市民生活に役立てます

そごう、サティの相次ぐ撤退による中心市街地の空洞化を防ぐため、豊田市中心市街地緊急活性化計画に基づく各種事業を行ってきました。

その結果、大型商業施設の空き店舗はなくなり、またコモ・スクエアという新たな再開発ビルの影響もあって、中心市街地内駐車場利用台数および来街者は増加傾向にあります。

今後は、合併により拡大した市全域の商業地に対して、がんばる商店街への支援集中を図り、買物の利便性を高めるとともに、商店街の持つ防犯などのコミュニティ機能を維持し、豊かな市民生活に役立てます。

より効果の高い事業を支援します

条例に基づき、豊田市商業振興委員会を設置しています。

委員会では、より効果的な活性化事業を行うため、支援制度の対象となる事業の認定、評価を行うほか、商業環境の変化に対応するため、制度の検討および改廃を随時行っています。

条例による支援制度により商業活性化を推進します

条例により、商業活性化推進交付金および商業・サービス機能誘致奨励金の2つの制度を創設し、商業活性化事業を推進しています。

①商業活性化推進交付金

商工会議所、商工会、市等の出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業について、事業費の80%を上限に支援を行っています。

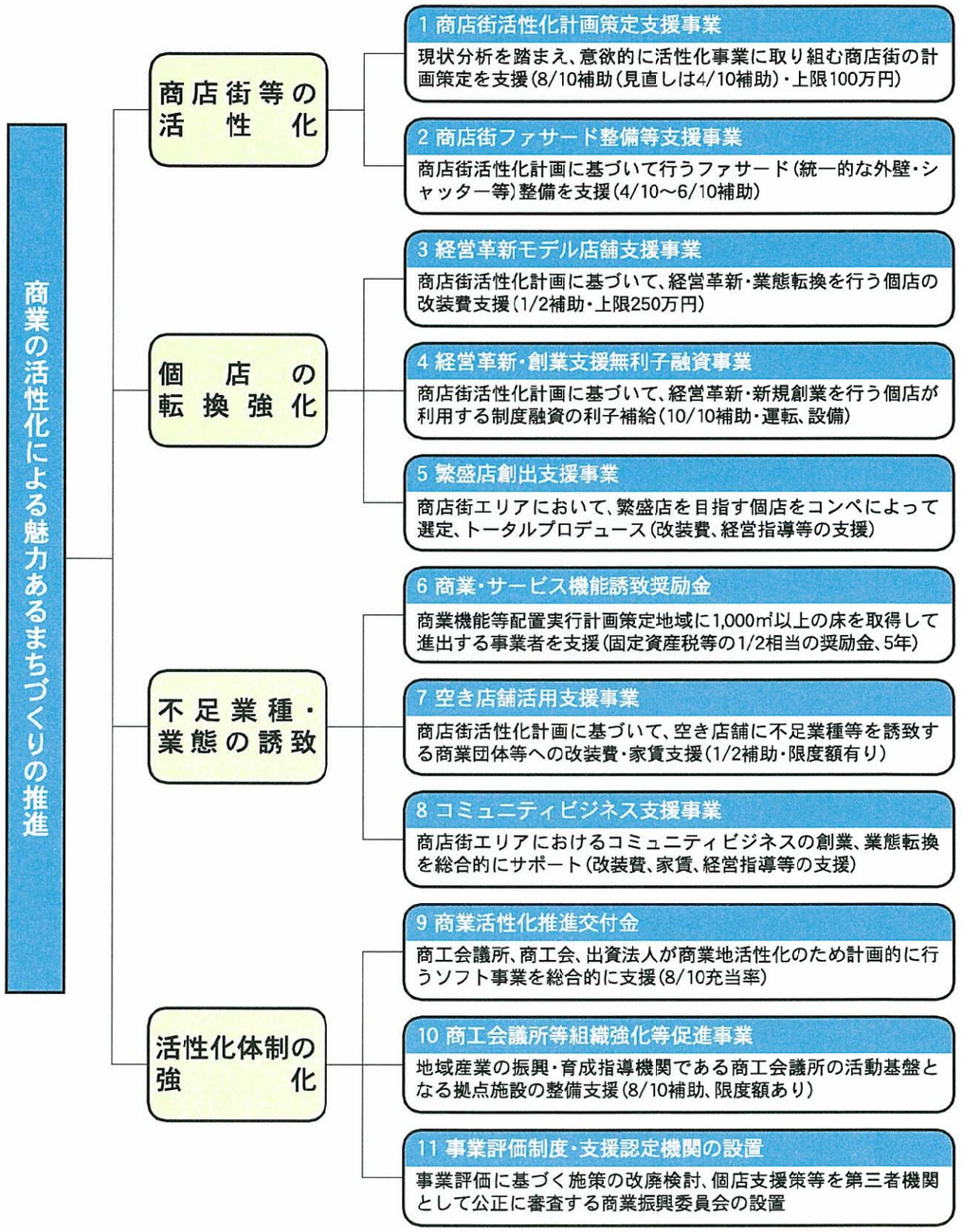
本交付金は、事業者が提案する事業を市が採択するという方式を採用することにより、全市一律の支援を脱して、地域の実情に応じたユニークなアイデアを支援し、事業者のやる気を喚起しています。

②商業・サービス機能誘致奨励金

中心市街地および地域商業地において核となる施設を誘致し、計画的にまちづくりを進めていく必要が発生した場合、消費者および地域住民のニーズを踏まえ、商業機能等配置実行計画を策定します。

この計画に定められた業種で1,000㎡以上の規模である事業者が進出した場合に、固定資産税、都市計画税、事業所税相当の奨励金を支出し、核施設の進出を促進します。

【目標】　【施策分野】



商業活性化推進交付金による事業の数々

豊田まちづくり(株)

1. 商業活性化推進交付金(商業振興条例)とは

平成16年度豊田市は、商業の自立的な取り組みを支援するために商業振興条例を施行し、そのなかで「事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援することにより商業の活性化に資する目的」で商業活性化交付金事業を設定しました。

2.豊田まちづくり(株)の商業活性化推進交付金事業(3ヵ年計画)の基本方針

広域の市民が交流する、中心市街地を一つのショッピングモールとして捉え、
●商業機能の充実による小売商業の活性化
●中心市街地の魅力の発信に向けた集客プロモーションの充実
●快適な都市空間の創出、商業活性化に向けた環境整備への支援・参画を柱に事業を展開します。

〈豊田まちづくり(株)第1期(H17~H19)商業活性化推進交付金事業〉 ■は、商業活性化交付金を活用し、豊田まちづくり(株)が地域の皆様と取り組んでいる事業です。

事業の方針		事業名／事業の考え方		事業効果
中心市街地の活性化	商業機能の充実 テナントミックス事業	大型店の魅力化	■ショッピングモール核整備推進事業 ・郊外店舗と棲み分けされた大型店の魅力化に向け、大型店共同による計画策定と実行	・魅力ある商業集積への転換 中心市街地大型店、商店街等をショッピングモールとして捉え、広域の消費者に対応する商業集積への転換をはかる
		商店街の活性化	■魅力ある個店づくり/空き店舗再生事業 ・中心市街地商業の面的機能充実に向け、商店街=魅力ある個店の集積づくり(商業ゾーン構築) ・商店街等との共働の取り組み	
	商業機能の充実 チャレンジショップ事業	チャレンジショップ事業の充実	■チャレンジショップ(創業者創出)事業 ・創業者の創出拠点「TM-SEED」の認知度向上と新たな商業空間としての話題性・魅力度の向上	・創業者の育成支援 ・話題性のある商業空間の創出
	集客プロモーションの充実 イベント事業	地域イベントの参画と支援	■地域イベント等の共働事業 ・商店街、地域等との共働・支援事業によるまちの賑わい性の向上、地域コミュニティーの創出	・中心市街地の賑わい性の創出 ・中心市街地への来街者の促進 ・中心市街地団体・事業者等共同の活性化事業
		まちパワーフェスタの開催	■まちなか宣伝会議『まちパワーフェスタ』 ・中心市街地まちなか宣伝会議の核事業としてコンテンツの充実とセールスプロモーションの展開	
	集客プロモーションの充実 情報発信事業	中心市街地の情報発信	■まちなか宣伝会議『情報発信事業』 ・店舗・施設の営業、イベント情報の発信 ・イベント等まちなか情報の発信 ・中心市街地情報の集約整理、一元化	・まちの魅力・話題の紹介、発信 ・官民一体となった中心市街地の情報発信
	環境整備の充実 都市基盤整備(含ソフト事業)	中心市街地の基盤整備	★地域まちづくり活動事業 (まちづくり交付金　まちづくり活動支援委託)	・快適な公共空間の創出 ・地域と一体となったまちづくりの推進
		商業活性化に向けたソフト事業の実施	■環境整備事業 ・ショッピングカート共同利用事業	・商業活性化に向けた、商業環境の整備・充実
	環境整備の充実 駐車場一体管理事業	フリーパーキングシステムの充実	■フリーパーキング事業 ・利用者の利便性の向上 ・利用者の利用者数の拡大 ・加盟店舗、駐車場の拡大	・中心市街地の利便性向上による来街促進 ・まちなか共同事業
	環境整備の充実 まちなか拠点づくり事業	「まちなかサロン」の設置	■交流拠点整備事業 ・まちづくり活動、交流拠点の設置 ・文化、芸術等の発信	・地域コミュニティ拠点の創出 ・文化などの発信
	環境整備の充実 まちなかビル一体(群)管理事業	中心市街地再開発ビル等の一体的管理	■まちなかビル一体(群)管理事業	・効率的なビル管理運営による再開発経営の安定化
	まちづくり人材の育成活動支援	まちづくり人材の能力開発、活動をサポート	■まちづくり活動支援・人材育成事業 ・TS先進都市「豊田市」のまちづくりの推進 ・まちづくり活動の発信、啓発、支援	・まちづくり専門人材の育成 ・活動の活発化

まちなか宣伝会議事業

3.商業活性化推進交付金目標指数達成状況(H17~H19)

【通行量】平成16年比106.9%の伸長。ただし、目標比は86.3%未達成
豊田市駅東西ペデ総数(2箇所、日+平日)は平成16年比108.3%の伸長。平成14年と比較すると低いが、3カ年では回復基調。
【駐車場利用台数】平成16年比126.1%の伸長。目標比も116.7%と達成。
ただし、平成16年時駐車場(14駐車場)数での比較では108.1%。フリーパーキング事業(H15.4開始)により大きく伸長。
【大型店売上高】平成16年比105.2%の伸長。全国大型店売上(百貨店H19／H16:98.3%、スーパーH19／H16:97.7%)と比較すると着実に向上している。

事業内容		
平成17年度	平成18年度	平成19年度
①大型店テナントミックス研究会の発足~開催(松坂屋、T-FACE、GAZA、セントレ、名鉄産業) ②豊田市周辺郊外ショッピングセンター調査の実施 ③大型店研究会による先進地(千葉県柏市)視察の実施	①大型店テナントミックス研究会開催(松坂屋、T-FACE、GAZA、セントレ、名鉄産業) ②各大型店再構築プラン作成	①大型店テナントミックス研究会開催(松坂屋、T-FACE、GAZA、セントレ、名鉄産業) ②ショッピングモール核整備(MD計画・環境計画)作成
①商店街等との共働 (桜町ファザード整備合意形成・TMO計画策定) ②中心市街地商業ゾーン構築の考え方、方向の策定 ③中心市街地空き店舗、業種等の調査の実施	西町緑陰歩道沿線 商業ゾーン構築プラン作成	①商店街等との共働(一店逸品運動) ②中心市街地商業ゾーン構築 (整備の方向案) ③中心市街地空き店舗再生(整備の方向案)
①チラシ・ポスター作成 ②雑誌掲載(chaoo店舗紹介・新規出店社募集等) ③装飾 ④集客イベント ⑤チャレンジャーの育成	①チラシ・ポスター作成 ②雑誌掲載(chaoo店舗紹介・新規出店社募集等) ③装飾(TM-SEEDの装飾) ④集客イベント ⑤チャレンジャーの育成	①チラシ・ポスター作成 ②雑誌掲載(chaoo店舗紹介・新規出店社募集等) ③装飾(TM-SEEDの装飾) ④集客イベント ⑤チャレンジャーの育成
①商店街との共働・支援の取り組み ②地域住民との共働・支援の取り組み ③関係先・団体との共働 (グランパスフラッグ整備等)	①商店街との共働・支援の取り組み (桜町八日朝市) ②地域住民との共働・支援の取り組み (桜町竣工式典)	①商店街との共働・支援の取り組み (桜町八日朝市)
①まちなか宣伝会議の開催(事務局運営) ②まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ秋』開催 ③まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ春』開催	①まちなか宣伝会議の開催(事務局運営) ②まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ秋』開催 ③まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ春』開催	①まちなか宣伝会議の開催(事務局運営) ②まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ秋』開催 ③まちなか宣伝会議事業 『まちパワーフェスタ春』開催
①店舗施設の営業、 イベント情報の発信(chaoo) ②イベント等まちなか情報の発信 (まちなかWeb)	①店舗等の情報発信(「中心市街地潜入ガイドブック」発行) ②イベント等まちなか情報の発信(まちなかWEB、TVCM) ③まちなか情報の集約(「とよたまちなかガイドブック」発行) ④中心市街地広報・情報発信のあり方の勉強会	①店舗等の情報発信(「中心市街地潜入ガイドブック」発行) ②イベント等まちなか情報の発信(まちなかWEB、TVCM) ③まちなか情報の集約(「とよたまちなかガイドブック」2回発行) ④中心市街地広報・情報発信(イメージアップポスター)
まちづくり協議会等の地域住民のまちづくり活動への支援 まちづくり活動支援依託 栄町地区・竹生地区まちづくり協議会、緑陰・西町地区	まちづくり協議会等の地域住民のまちづくり活動への支援 まちづくり活動支援依託 竹生線整備を中心に沿線4自治区と協議 桜城址公園の整備計画づくり(ほうだら会)	まちづくり協議会等の地域住民のまちづくり活動への支援 まちづくり活動支援依託 竹生線整備を中心に沿線4自治区と協議
ショッピングカート共同利用(松坂屋、T-FACE、セントレ、メグリア) ①共用ショッピングカートの増設 ②カートにまちなか情報を掲載 ③ショッピングカートの回収等の管理運営 ④利用促進の催事(スタンプラリー)、利用状況調査の実施	ショッピングカート共同利用(松坂屋、T-FACE、セントレ、メグリア) ①共用ショッピングカートの増設 ②カートにまちなか情報を掲載 ③ショッピングカートの回収等の管理運営 ④利用促進の催事(スタンプラリー)、利用状況調査の実施	ショッピングカート共同利用(松坂屋、T-FACE、セントレ、メグリア) ①共用ショッピングカートの増設 ②ショッピングカートの回収等の管理運営 ③利用促進の催事(スタンプラリー)、利用状況調査の実施
フリーパーキング事業 ①商店街加盟店舗の維持・促進に向けた商店街加盟店舗への認証ライター貸出費補助 ②利用者、新規加盟店への案内P・R物 (ポスター、リーフレット等)の作成	フリーパーキング事業 ①商店街加盟店舗の維持・促進に向けた商店街加盟店舗への認証ライター貸出費補助 ②利用者、新規加盟店への案内P・R物 (ポスター、リーフレット等)の作成	フリーパーキング事業 ①商店街加盟店舗の維持・促進に向けた商店街加盟店舗への認証ライター貸出費補助 ②利用者、新規加盟店への案内P・R物 (ポスター、リーフレット等)の作成
まちなか交流サロンの設置 サロン設置と活用ならびに運営方法の決定・目的・機能、活用方法、事業内容、場所、費用、収支等事業化への取り組み	まちなか交流サロンの設置 サロン設置と活用ならびに運営方法の決定・目的・機能、活用方法、事業内容、場所、費用、収支等事業化への取り組み	まちなか交流サロンの設置 サロン設置と活用ならびに運営方法の決定・目的・機能、活用方法、事業内容、場所、費用、収支等事業化への取り組み
まちなかビル一体(群)管理事業 ①協議会設置に向け先進地視察		
まちづくり活動支援・人材育成事業 ①まちづくり記録・PR 「中心市街地活性化の歩み」作成 ②まちづくり講演会の開催 ③まちづくり先進地視察	まちづくり活動支援・人材育成事業 まちづくり記録・PR 「中心市街地活性化の歩み」作成	まちづくり活動支援・人材育成事業 まちづくり記録・PR 「中心市街地活性化の歩み」作成



その他のまちづくり事業

一店逸品運動

豊田市一店逸品運動実行委員会

経緯と目的

経　　緯　商店街等の活性化の一環として、各店舗が独自のサービスや商品を『逸品』として消費者にアピールするまでのプロセスについて学ぶため、H18.2月より定期的に「一店逸品運動研究会」を実施。現在は協同組合豊田市商店街連盟の挙母ブロックより19店舗が参加しているが、今後は市域全体での運動の展開を予定している。

目　　的　① 「個店の強化・差別化戦略（こだわりの商品・サービス）・魅力ある個店」を創出し、商店街の活性化をはかる
② 中心市街地商業の活性化をはかる
③ 豊田市中心市街地だけでなく、市域全体に一店逸品運動を広め、市域全体の商業の活性化をはかる





活動実績

「一店逸品運動」講習会・説明会の実施
1～2ヶ月に1回の頻度で「昼と夜」の2部制で研究会の実施
「一店逸品フェアちらし」の制作（H19.4月およびH20.3月発行）
一店逸品運動実行委員会ホームページ　http://www.toyota.or.jp/chukatsu/ippin/

第1期　逸品フェアの開催（参加18店舗）
H19年4月27日（金）～5月27日（日）



「お披露目会」
おいでんビル（旧長崎屋）前にて実施

逸品大賞
これであなたも八代あき！
「カラオケドレス」婦人服の山田屋





逸品巡りツアー

第2期　逸品フェアの開催（参加19店舗）
H20年3月8日（土）～31日（月）



「お披露目会」
GAZA南広場にて実施

逸品大賞
やっと会えたね♥春色の味
「お餅万頭 さくらさくら」
お菓子処三河屋





逸品巡りツアー

事業主体

豊田市一店逸品運動実行委員会
（協）豊田市商店街連盟・豊田市中心市街地まちなか宣伝会議・豊田まちづくり（株）・豊田商工会議所

その他のまちづくり事業

豊田市駅前通り南地区市街地再開発事業

事業の目的・方針

多機能複合型施設の導入による新たな交流核の形成を目指し、昼夜間人口の拡大による中心市街地の活性化と、交通環境及び都市防災機能の向上等による市街地の整備改善を一体的に図る。

- 都市の賑わいと活力をもたらす新たな都市機能の導入
- 市民生活を充実させる時間消費の場の創出
- シティホテルと事務所を核としたビジネス関連の交流活性化
- 都心ならではの魅力を享受できる住宅・居住環境の形成
- 都心におけるシンボリックで個性的な空間の創出
- 都心を安心して楽しく回遊できる移動空間の形成
- 都心にアクセスしやすい交通システムの整備（周辺道路整備、駐車場の確保）



「コモ・スクエア」(COMO Square)

事業の概要

街区の東側に住宅・商業棟（E棟）、西側に商業・業務・ホテル棟（W棟）を配置、平成20年12月事業完了。

棟		施設の概要	延べ床面積(㎡)
W棟	店舗・スポーツ施設棟（1～4階）	●専門店・飲食店等（1・2階） ●プール、フィットネス等（3・4階）	5,400
	事務所・ホテル棟（1～12階）	●事務所 賃貸オフィス等（3～7階）タワーP72台 ●シティホテル（1・2・8～12階）	19,900
	地下駐車場・駐輪場（地下1・2階）	●駐車場　185台（地下1・2階） ●駐輪場　279台（地下1階）	9,500
E棟	店舗・事務所・駐車場棟（1～5階）	●専門店・飲食店等（1・2階） ●住宅用駐車場　180台（3～5階）	8,000
	住宅棟（1～19階）	●分譲マンション　132戸	14,900
	地下駐車場（地下1階）	●駐車場　65台	2,500
面積合計			60,200

運営会社

豊田市駅前通り南開発株式会社（平成17年12月設立、資本金3億円）

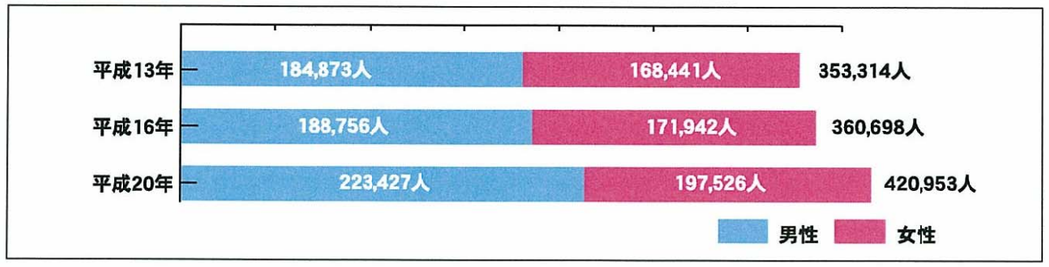
資料

豊田市データ

豊田市の市勢データ

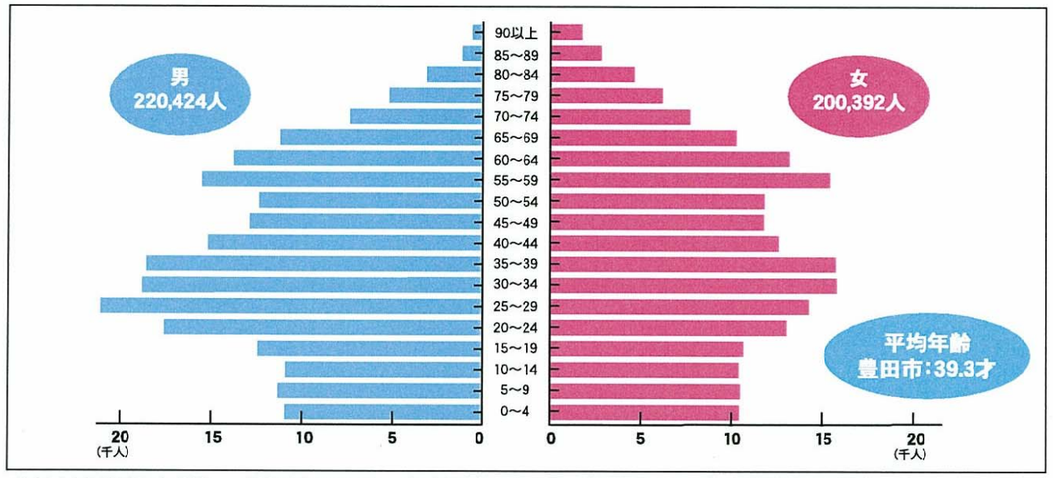
豊田市の人口推移

出典：平成20年豊田市WEB統計書/平成20年あいちWEB統計書



豊田市年齢別・男女別人口

出典：豊田市の今月の人口（平成20年4月）豊田市WEB統計書



＜市町村別平均年齢＞　愛知県：42.2才　名古屋市：43.1才　豊橋市：42.3才　岡崎市：40.9才

豊田市の昼間人口・夜間人口の推移

出典：平成17年豊田市WEB統計書

区分	平成7年			平成12年			平成17年		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
昼間人口	340,876	185,434	…	350,847	189,313	54,109	445,252	…	…
夜間人口	356,583	199,632	…	375,298	211,391	56,482	408,700	…	…

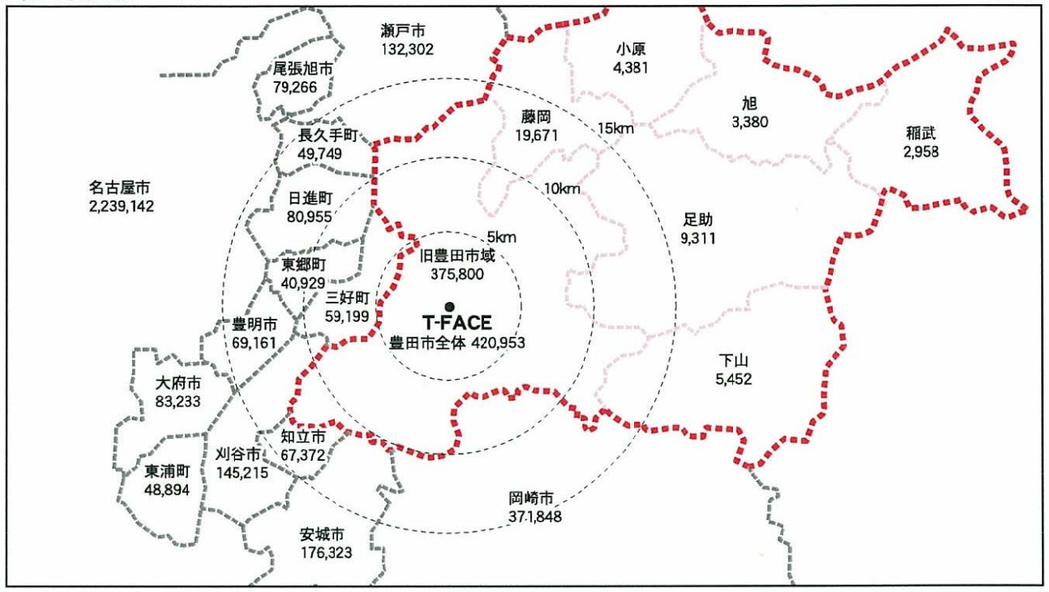
愛知県主要都市との人口比較

出典：平成20年あいちWEB統計書

	人口(人)	5年間の伸長率(%)	世帯数(世帯)	1世帯あたり人員(人)	1人あたりの市町村民所得(千円)
豊田市	420,953	4.3	163,365	2.6	5,893
名古屋市	2,239,142	2.0	988,001	2.3	3,422
豊橋市	377,274	2.1	139,212	2.7	3,141
岡崎市	371,848	5.4	138,348	2.7	3,684

商圏の設定

平成20年3月 現在　　単位：人



＜5km圏内＞
（車で10分以内）

	人口	5年間伸長率
豊田市中心	約22.0万人	(5.0%)

＜10km圏内＞
（車で20分以内）

	人口	5年間伸長率
豊田市(旧)	37.6万人	(3.8%)
三好町	5.9万人	(10.0%)
東郷町	4.1万人	(5.8%)
日進町	8.1万人	(8.7%)
合計	55.7万人	

※平成17年4月に周辺市町村を合併し、愛知県で名古屋市に次いで人口が2番目の都市となった。
面積は918.47㎢と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。

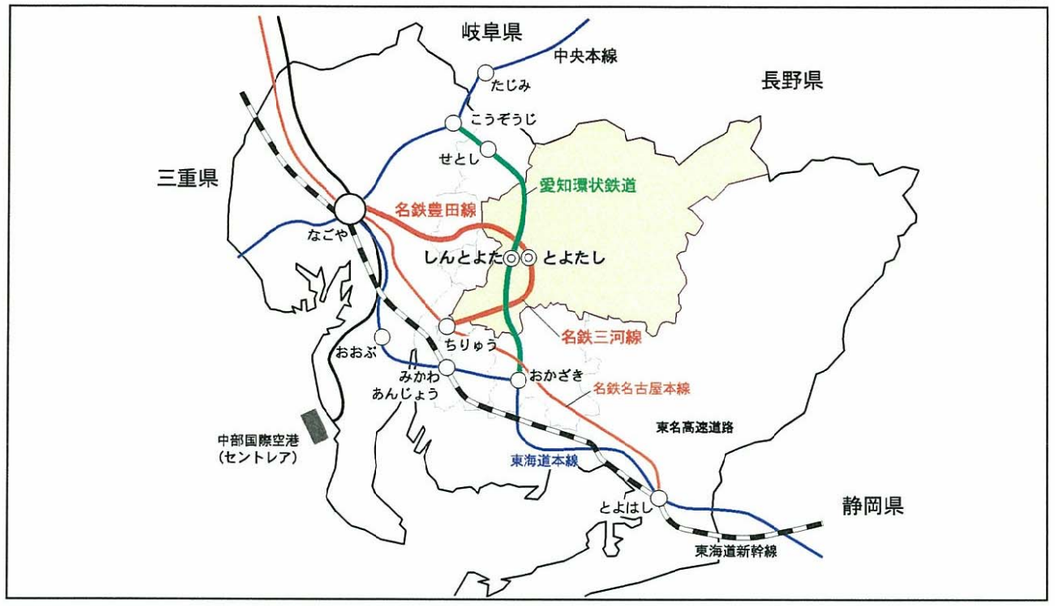
資料

交通アクセス

名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中心に位置し、中核都市として独立商圏を形成している。

鉄道

2005年　現在



＜近隣からのアクセス＞

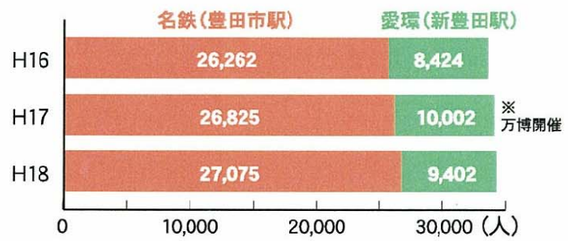
■名古屋鉄道

名古屋	⇒⇒⇒ 740円	豊田市駅	60分
知立	⇒⇒⇒ 390円	豊田市駅	25分

■愛知環状鉄道

岡崎	⇒⇒⇒ 490円	新豊田駅	30分
瀬戸市	⇒⇒⇒ 490円	新豊田駅	30分

＜1日の平均乗降客数＞



※特に朝夕の通勤ラッシュ時は2つの駅をつなぐペデストリアンデッキの往来が多くなる。

●名鉄線の2線（豊田線・三河線）は都市間交通手段として利用されている。特に周辺地域のベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。

●愛知環状線は2005年愛知万博開催に伴い、八草駅と藤が丘をつなぐ東部丘陵線（リニモ）が開通し、乗降客が増加した。今後、複線計画もあり、さらなる利便性の向上と乗降客数の増加が期待できる。

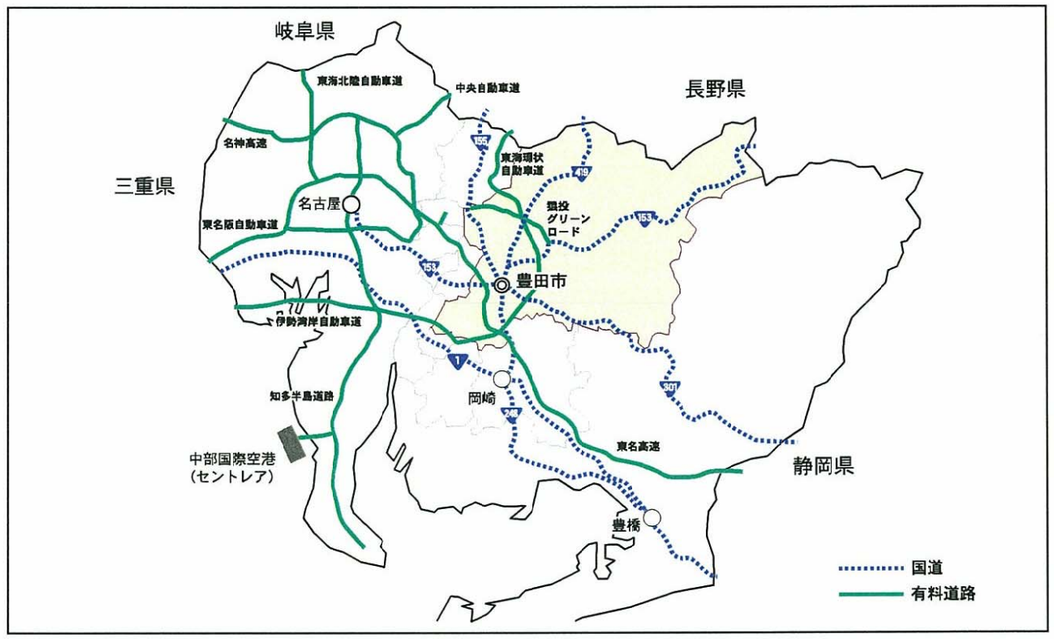
バス

●名鉄バスが、豊田市駅東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。

●朝夕の交通渋滞緩和のため、試験的に通勤時間帯にトヨタ自動車本社・工場へのシャトルバスが豊田市駅より発着している。1日約2,200名に利用されている。

●中心市街地の循環バスや、地元住民組織（ふれあいバス運営協議会）によるバスの運行など利便性は向上しつつある。

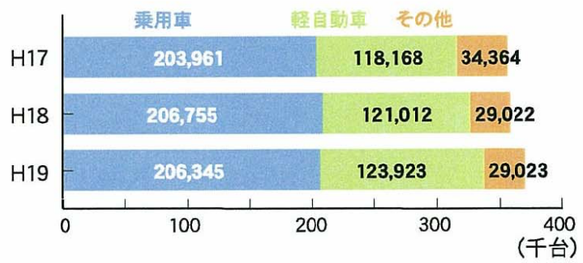
道路交通



＜近隣からのアクセス＞

名古屋	⇒⇒⇒ 29km	豊田	60分
豊橋	⇒⇒⇒ 47km	豊田	100分
岡崎	⇒⇒⇒ 17km	豊田	40分

＜自動車登録台数の推移＞



豊田市1世帯当たり乗用車保有率は1.69台と高く、車型社会が発展している（愛知県平均1.17台）。
乗用車登録台車数は平成17年には203,961と20万台に到達した。

資料

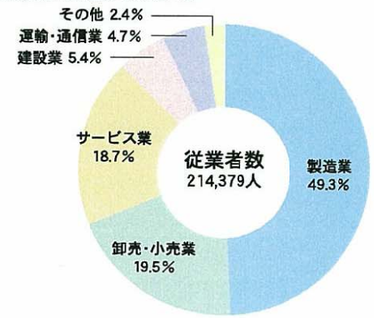
豊田市の産業

豊田市　市勢ガイド2007より

平成16年の事業所統計調査（合併前7市町村の数値を合算）による産業別就業者数の割合は、第2次産業（製造業、建設業等）が54％、第3次産業（卸・小売・サービス業等）が38.2％と第2次産業が半数をしめている。ちなみに第２次産業のほとんどを占める製造業で働く人の約83％が自動車関連産業に従事している。

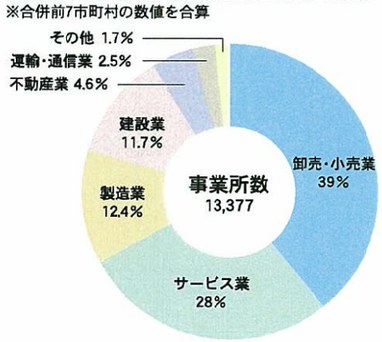
■産業大分類別従業者数構成比

（平成16年10月1日現在・事業所統計調査）〔民営事業所〕
※合併前7市町村の数値を合算



■産業大分類別事業所数構成比

（平成16年10月1日現在・事業所統計調査）〔民営事業所〕
※合併前7市町村の数値を合算



■農家数・農家人口の推移

（各年2月1日現在・農業センサス）

※合併前7市町村の数値を合算。
平成12年度は販売農家の集計。



■商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

※各年の「あいちの商業（商業統計調査結果報告書）」より、合併前7市町村の数値を合算

年次	商店数	従業員数（人）	年間商品販売学（万円）
平成6年	3,644	25,994	148,901,293
9	3,594	25,161	168,313,448
11	3,498	27,682	146,878,061
14	3,221	27,467	152,131,202
17	3,098	26,343	157,531,645

■工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

※各年の「あいちの商業（商業統計調査結果報告書）」より、合併前7市町村の数値を合算

年次	商店数	従業員数（人）	製造品出荷額等（万円）
平成13年	1,123	93,648	915,074,403
14	1,078	93,728	984,663,652
15	1,066	96,773	963,098,700
16	1,045	96,001	996,758,500
17	1,398	100,096	1,104,330,000

資料

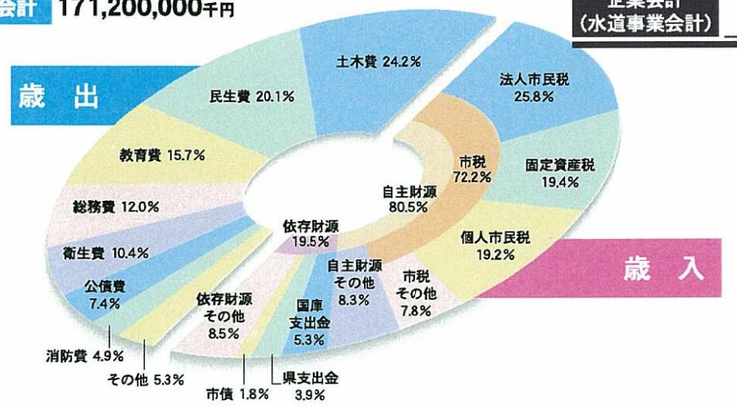
豊田市の財政

平成20年度当初予算 総額 257,770,440千円

一般会計 171,200,000千円

特別会計 71,038,260千円

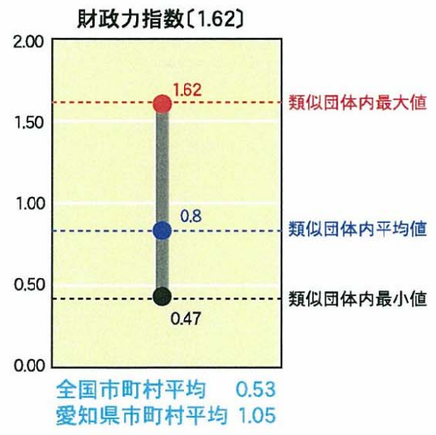
企業会計（水道事業会計） 15,532,180千円



市町村財政比較分析に基づく豊田市と周辺の財政力比較（平成17年度普通会計決算）

※総務省ホームページより

●財政比較分析表は地方財政状況調査をもとに作成され、「分析欄」を各地方自治体が各指標の数値を類似地方自治団体と比較分析して記入しています。
●豊田市の比較分析の対象については総務省作成の「類似団体別市町村財政指数表」の類型に準拠しており類似団体は中核市となり、県内では、豊橋市、岡崎市などがあげられます。
●『財政力指数』とは地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえます。



県内近郊市町の財政力指数　※H18データ

豊田市　：　1.62（1/37位　全国中核市内順位）

豊橋市　：　1.00（4/37位　全国中核市内順位）
岡崎市　：　1.10（2/37位　全国中核市内順位）
刈谷市　：　1.62（1/19位　全国類似公共団体内順位）
安城市　：　1.42（1/6位　全国類似公共団体内順位）
知立市　：　1.10（6/43位　全国類似公共団体内順位）
日進市　：　1.25（1/56位　全国類似公共団体内順位）
三好町　：　1.76（1/44位　全国類似公共団体内順位）
東浦町　：　1.02（10/44位　全国類似公共団体内順位）
名古屋市　：　0.97（2/14位　政令指定都市内順位）

分析コメント
自動車製造関連企業の好調な業績により引き続き地方税収が伸びており類以団体平均を上回る良好な値を示している。

資料

周辺商業施設概要

大規模店舗(平成17年現在)

豊田市の近郊は、人口の著しい増加や、15～64才の生産年齢人口比率が全国平均より高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外がそれぞれの役割を担い、すみわけを進めている。

大規模店舗施設概要

商圏内(半径5km)直接大規模店舗

コモ・スクエア 豊田市喜多町/建築延床面積約46,870㎡/駐車場250台

2棟のビルで構成され、1棟は豊田キャッスルホテル、大型スポーツ施設、オフィスで構成。もう1棟は飲食店、美容サービスを中心とした店舗で構成されている。平成20年には住居棟も完成し、街の集客に大きな力を発揮すると予想される。

メグリアセントレ+GAZA CSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000㎡/駐車場1,544台

ヤングファミリーターゲット。2階には「コムサイズム」「ハッシュアッシュ」「ランドランドランド」などが出店。3階には、「ユニクロ」「くまざわ書店」「すがきや」などが出店し、駅前立地かつ駐車場隣接と利便性が高い。トヨタ生協食品売場中心に、足元商圏を獲得している。

ジャスコ豊田店 GMS/豊田市広路町/売り場面積11,711㎡/駐車場2,000台

ニューミッシーからミセスをターゲットにしたGMS。食品売場を中心にデイリー性の高い店舗を志向するとともに、施設面においては隣接地に広大な駐車スペースを有し、商圏特性である車型社会への対応が図られている。

ジャスコ高橋店 GMS/豊田市東山町/売り場面積7,969㎡/駐車場2,300台

豊田市東部の郊外の住宅地に立地するGMS。また豊田店と同様に隣接地に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成は住宅地という立地からデイリー性の高い品揃えであり、商圏顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。

メグリア本店 生協/豊田市山之手/売り場面積13,013㎡

トヨタ自動車系の企業生協であることから、商圏顧客からのロイヤリティが高い。商品構成はファッション、リビング、食料品ともエコノミーからボリュームのデイリーな商品を中心に展開。とりわけ、食料品が強く賑わいがある。ジャスコと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。

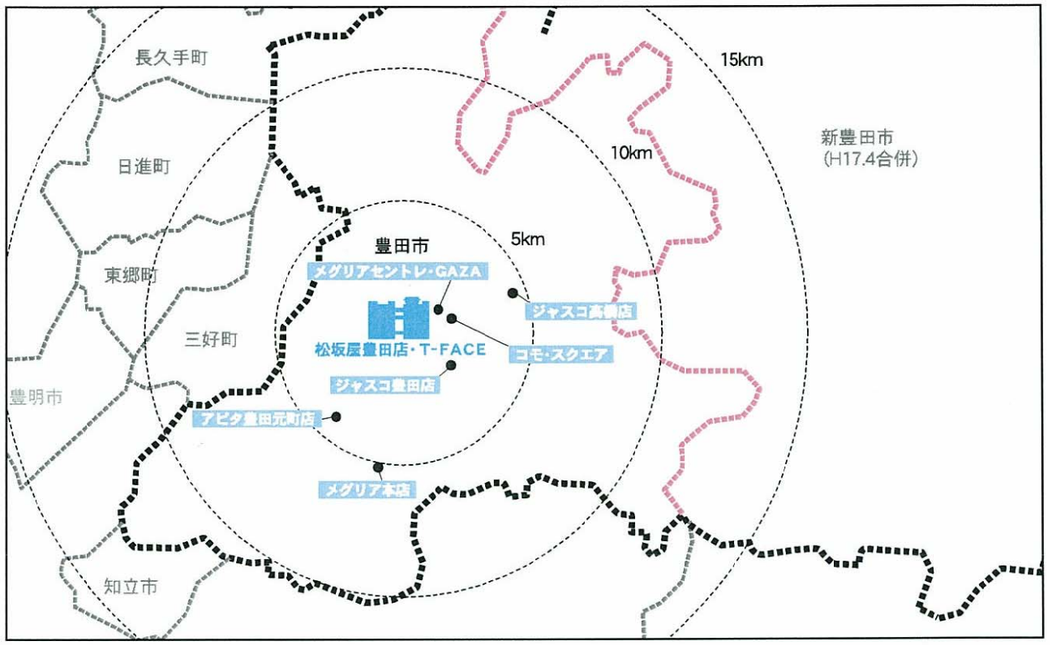
アピタ豊田元町店 GMS/豊田市土橋町/売り場面積7,583㎡/駐車場1,050台

H17.6にリニューアルオープンをし、隣接駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置され、「ラフォックス」も隣接している。豊田インターに近く三好町からのアクセスも便利。

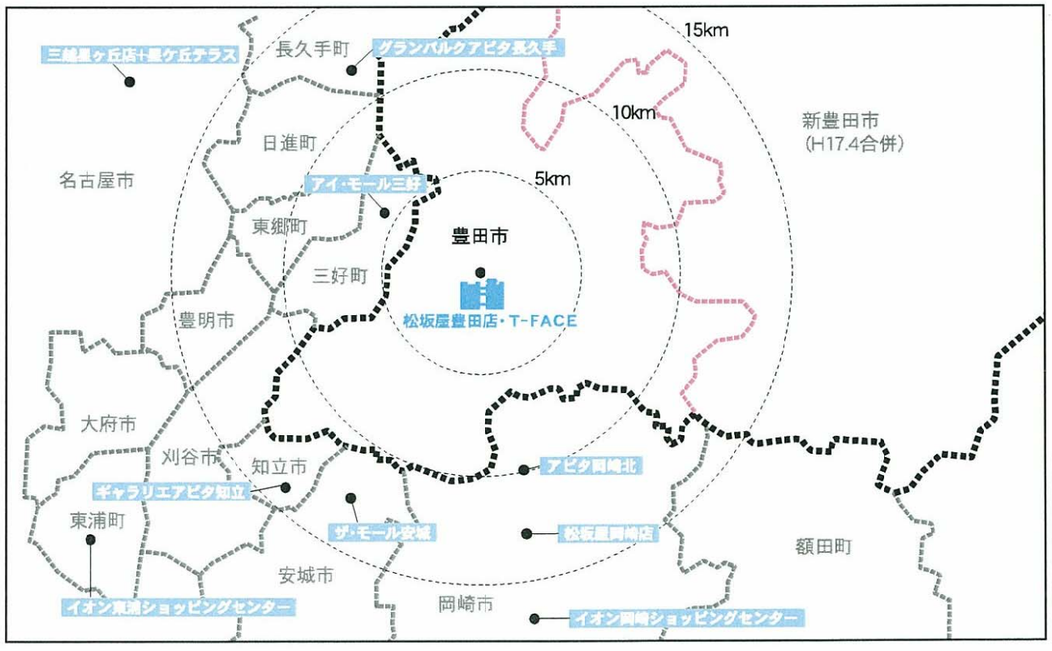
商圏内(半径15km)

名古屋三越星ヶ丘	百貨店/名古屋千種区/店舗面積21,178㎡/駐車場1,000台
星ヶ丘テラス	SC/名古屋千種区/店舗面積9,541㎡/駐車場1,474台
松坂屋岡崎店	百貨店/岡崎市康生通西/店舗面積12,230㎡/駐車場1,570台
イオン岡崎ショッピングセンター(西武・ジャスコ)	百貨店・GMS/ジャスコ岡崎南店/店舗面積75,285㎡
アピタ岡崎北	GMS/岡崎市日名北町/店舗面積19,849㎡/駐車場1,800台
アイ・モール三好	SC/西加茂郡三好町/店舗面積44,600㎡
ザ・モール安城	SC/安城市大東町/店舗面積13,411㎡/駐車場1,500台
ギャラリエアピタ知立	GMS/知立市長篠町/店舗面積29,527㎡/駐車場3,000台
グランパルクアピタ長久手	GMS/愛知郡長久手町/店舗面積30,000㎡
イオン東浦ショッピングセンター	GMS/東浦町/店舗面積45,512㎡/駐車場4,000台

豊田市周辺大規模店舗位置図



広域大規模店舗位置図(半径約15km圏内)



資料

通行量調査

出典：平成19年度豊田市中心市街地の通行量調査

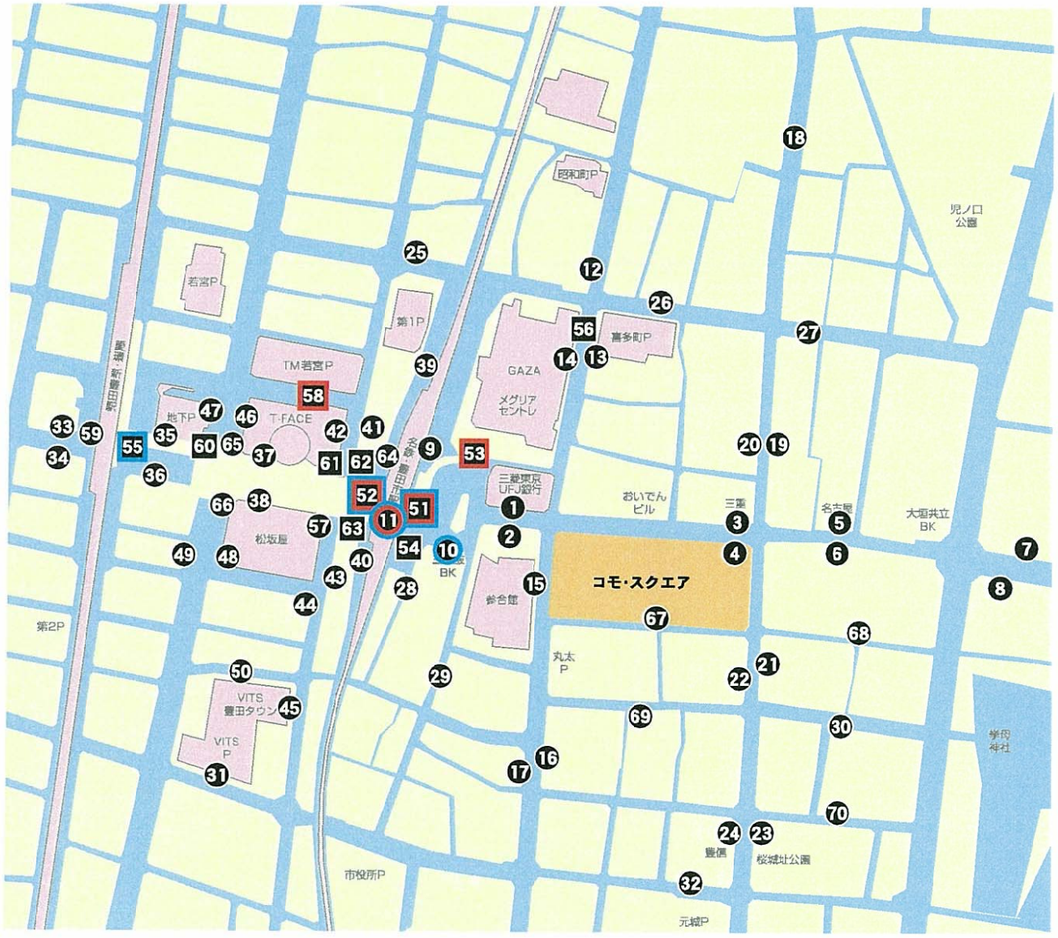
調査の目的と実施方法

●調査目的　様々な要因により変化する通行量の実態を把握し、諸計画立案にあたっての基礎資料とする。

●調査日時　・休日　平成19年11月11日（日）…雨のち曇り
基本時間：8時～20時（12時間）豊田市駅周辺は最大7時～22時（15時間）
・平日　平成19年11月14日（水）…晴れ
基本時間：8時～20時（12時間）豊田市駅周辺は最大7時～22時（15時間）

●計測方法　各時間につき45分の計測数値に4／3を乗じて得た数値（小数点以下切り上げ）を、その時間の通行とし、調査地点毎に（東西）または（南北）の方向別に通行量を計測した。

●調査地点　豊田市中心市街地70地点



●…（丸）グランドレベル
■…（四角）2階ペデストリアンデッキ
●■…（赤枠）休日の通行量上位5地点
●■…（青枠）平日の通行量上位5地点

調査結果概要

(1)休日と平日の通行量比較

休日と平日の通行量を比較すると、平日の通行量の方が多い。

●休日　11月11日（日）8～20時のべ140,633人→〔参考：7～22時含む＝のべ144,939人〕

●平日　11月14日（水）8～20時のべ154,672人→〔参考：7～22時含む＝のべ167,064人〕

休日と平日の通行量を比較すると、14,039人休日の通行量が少ない。

	休日（人）	平日（人）	休日/全通行量
H19	140,633	154,672	47.6%
H18	123,926	145,606	46.0%
H17	131,128	127,499	50.7%
H16	105,139	118,032	47.1%

※ 通行量に大幅な違いがあるのは、H19・H18・H17・H16それぞれ調査地点の数と場所に変化があるため。
調査地点の推移：H19（70地点）、H18・H17（66地点）、H16（58地点）

(2)地点別通行量

休日と平日ともに、ペデストリアンデッキ上の「名鉄豊田市駅」東西出入口（地点51・52）の通行量が最も多い。

●休日の通行量上位5

順位	調査地点	通行量（人）
1位	51 デッキ①豊田市駅東口	12,948
2位	52 デッキ②豊田市駅西口	12,939
3位	53 デッキ③駅東口デッキ北	8,061
4位	⑪ 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	7,962
5位	58 TM若宮パーキング上空通路	6,703

●平日の通行量上位5

順位	調査地点	通行量（人）
1位	52 デッキ②豊田市駅西口	14,510
2位	51 デッキ①豊田市駅東口	11,453
3位	⑩ 三井住友銀行豊田支店前	8,090
4位	⑪ 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	7,419
5位	55 デッキ⑤新豊田駅東口	6,294

(3)経年の通行量推移

順位の入れ替わりはあるものの、通行量の多い5位までの地点に変化はあまりない。H18から地点51デッキ①豊田市駅東口と地点52デッキ②豊田市駅西口の通行量の順位が入れ替わる結果となっている。

●休日の通行量上位5地点の変化（平成19年から平成16年比較）

調査地点	H19通行量（人）	H18通行量（人）	H17通行量（人）	H16通行量（人）
51 デッキ①豊田市駅東口	① 12,948	① 13,890	② 11,771	② 11,950
52 デッキ②豊田市駅西口	② 12,939	② 13,398	① 12,733	① 12,105
53 デッキ③駅東口デッキ北	③ 8,061	③ 11,683	④ 7,572	③ 7,608
⑪ 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	④ 7,962	⑤ 4,986	③ 8,383	④ 7,078
58 TM若宮パーキング上空通路	⑤ 6,703	④ 6,359	⑤ 6,204	⑤ 6,854

●平日の通行量上位5地点の変化（平成19年から16年比較）

調査地点	H19通行量（人）	H18通行量（人）	H17通行量（人）	H16通行量（人）
52 デッキ②豊田市駅西口	① 14,510	① 14,826	① 14,810	① 13,634
51 デッキ①豊田市駅東口	② 11,453	② 11,810	② 10,183	② 10,183
⑩ 三井住友銀行豊田支店前	③ 8,090	⑤ 6,940	⑤ 5,913	④ 6,467
⑪ 名鉄豊田市駅下ロッテリア前	④ 7,419	③ 8,737	④ 7,569	③ 6,764
55 デッキ⑤新豊田駅東口	⑤ 6,294	④ 7,010	③ 7,910	⑤ 6,205

まちづくり推進団体

（順不同）

豊田市中心市街地活性化協議会

TCCM(豊田シティセンターマネジメント)

フリーパーキング事業

愛知県道路公社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社丸太不動産
豊田市
財団法人豊田市都市整備公社
豊田市都心地区駐車場高度利用協議会

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社松坂屋 豊田店
T−FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社豊田スタジアム
トヨタ自動車株式会社
名鉄トヨタホテル
ひまわりネットワーク株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市美術館
豊田市コンサートホール・能楽堂
豊田商工会議所
豊田市近代の産業とくらし発見館
豊田市駅前通り南開発株式会社
株式会社ホテル豊田キャッスル
株式会社ハクヨプロデュースシステム
トヨタすまいるライフ株式会社
財団法人豊田市体育協会)
豊田市(オブザーバー)

その他各団体・教育機関

愛知県商店街振興組合連合会
中心市街地花飾り実行委員会
イルミネーションストーリー実行委員会
一店逸品運動実行委員会
ジョイカルウエイブ実行委員会
愛知学泉大学

テナントミックス事業

株式会社松坂屋 豊田店
T−FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市
豊田商工会議所
名古屋鉄道株式会社

商店街

協同組合豊田市商店街連盟
とよた下町おかみさん会
ひまわり通り商店街振興組合
一番街商店街振興組合
桜町本通り商店街振興組合
豊田市駅前商業協同組合
西町商店街協同組合
喜多町昭和通り発展会
新豊田商店街振興組合
竹生発展会
駅東発展会
昭和町発展会
元城五番街発展会
小坂発展会

自治区・地域

崇化館地区　一区
崇化館地区　二区西部
崇化館地区　二区東部
崇化館地区　三区
崇化館地区　東区
崇化館地区　西区
崇化館地区　中区
朝日丘地区　小坂
桜町ほうだら会
竹の子村まちづくり協議会